

# 取扱説明書

## うすまきミニ播種プラント

THK-6015



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、事故を引き起こすおそれがあります。お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。



# うすまきミニ播種プラント THK-6015を お買い上げいただき、ありがとうございます。

## はじめに

- この取扱説明書はうすまきミニ播種プラント THK-6015の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
-  印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



### 警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



### 注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

# 目 次

1. 安全に作業するため	3 ~ 6
2. 安全銘板の張り付け位置	7
3. 本製品の使用目的について	7
4. 各部の名称	8
5. 仕 様	9
6. 組立要領	10 ~ 15
7. 運転及び操作	16 ~ 17
8. 土入れ作業	18 ~ 20
9. 播種作業要領	21 ~ 23
10. 灌水作業	24 ~ 25
11. 覆土作業その他の調節	26
12. 手入れ及び保管上の注意	27
13. 故障の診断と処置	28 ~ 30
14. パーツリスト	31 ~ 55

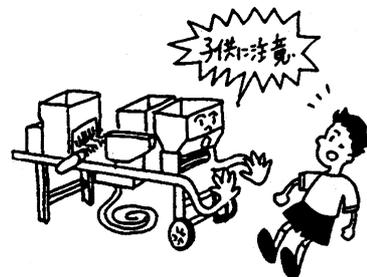
# 1. 安全に作業をするために

ここに記載されている注意項目を守らないと、  
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

## ▲ 警告 子供を近づけない

子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】  
傷害事故を引き起こすおそれがあります。



## ▲ 警告 電機部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】  
ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。



## ▲ 警告 2人以上で作業するときは、お互いに合図しながら機械を始動する

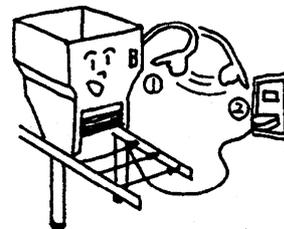
【守らないと】  
思わぬ事故になることがあります。



## ▲ 警告 点検・整備時には必ず電源を「OFF」にし、差込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし、差込みプラグを抜いてから行ってください。

【守らないと】  
思わぬ事故をおこします。



**▲ 注意**

**使用前に取扱説明書を必ず読む**

使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。

**【守らないと】**

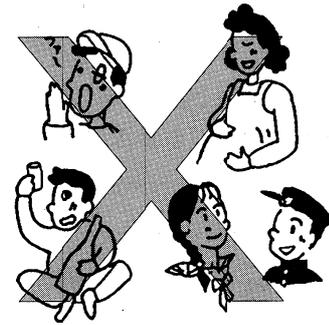
傷害事故や機械の破損をひきおこします。



**▲ 注意**

**こんな時は作業しない**

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。



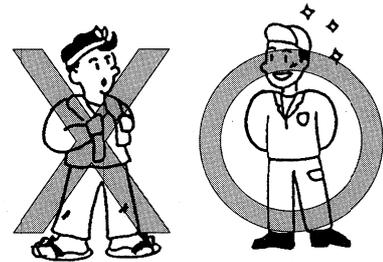
**▲ 注意**

**作業に適した服装をする**

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。  
作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。

**【守らないと】**

機械に巻き込まれたりするおそれがあります。



**▲ 注意**

**点検・整備をおこなう**

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

**【守らないと】**

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



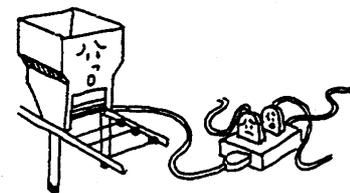
**▲ 注意**

**電源は交流100V専用コンセントに接続する**

また、タコ足配線はおやめください。

**【守らないと】**

火災事故の原因となります。



**▲ 注意**

作業中、停電した場合は、必ず電源スイッチをきる

**【守らないと】**

通電時、急にまわりだし、思わぬ傷害事故を起こします。

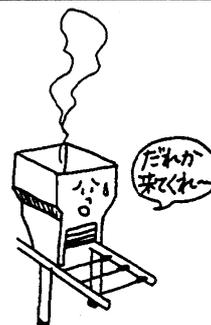


**▲ 注意**

作業を中断・終了した場合は、必ず電源スイッチを切る

**【守らないと】**

ショートして、火災の原因になることがあります。



**▲ 注意**

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付けてください。

**【守らないと】**

機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



**▲ 注意**

機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

**【守らないと】**

傷害事故や、機械の破損をまねくおそれがあります。



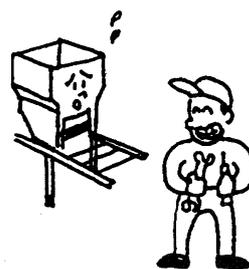
**▲ 注意**

機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないでください。改造をしないでください。

**【守らないと】**

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



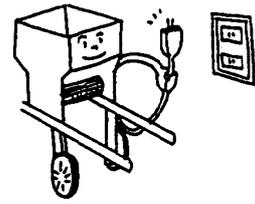
**▲ 注意**

**後始末を忘れずに**

長時間使用しないときは、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

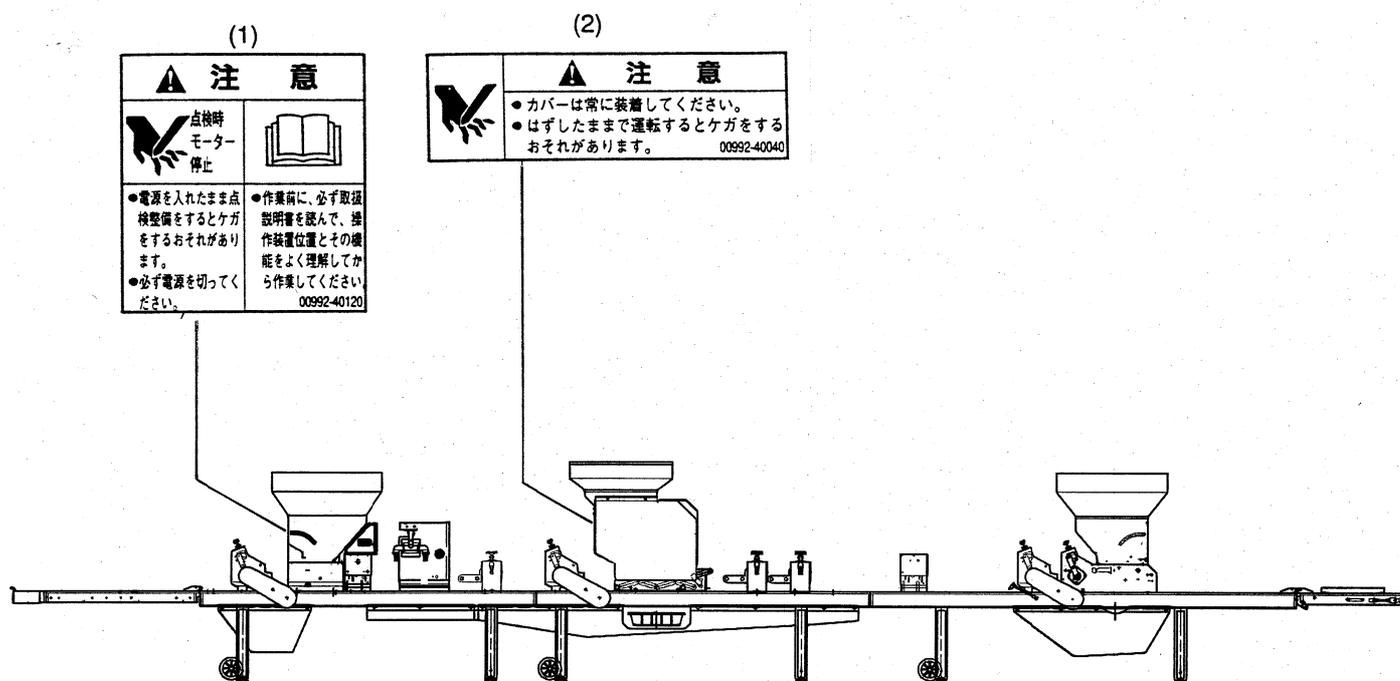
**【守らないと】**

火災事故や感電事故のおそれがあります。



## 2. 安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。  
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



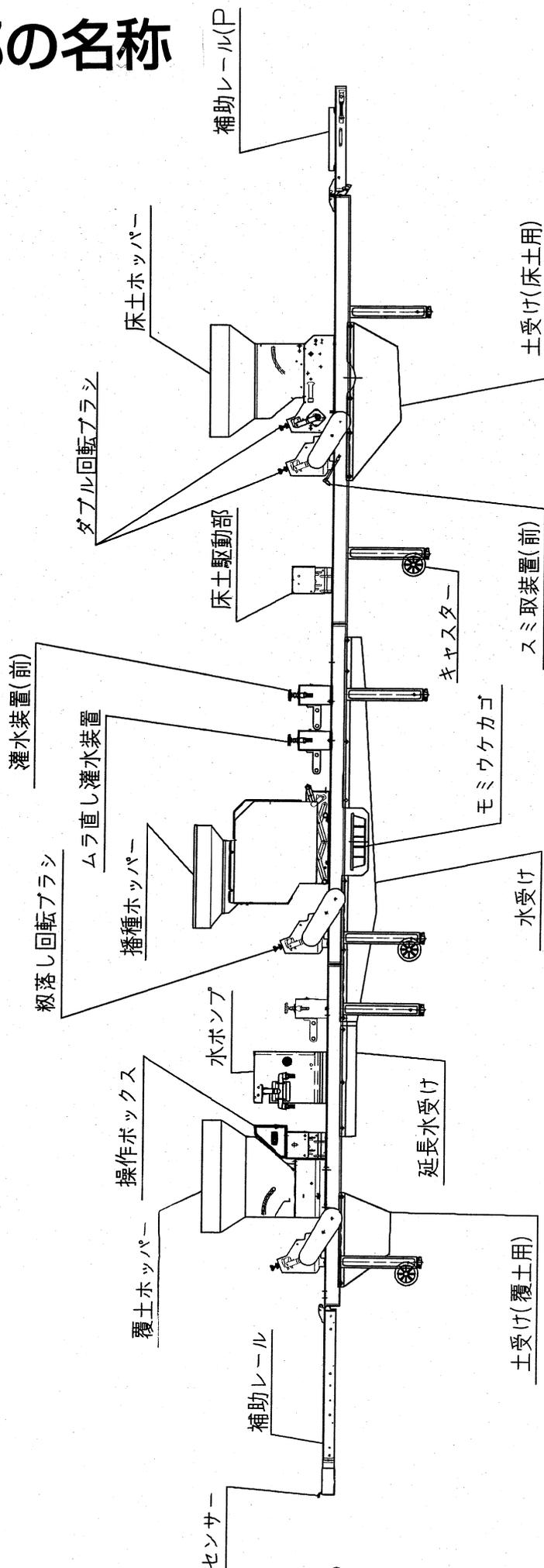
紛失または破損された場合には、当社に下記の表を参考にご注文ください。

No	部品番号	部品名称
(1)	00992-40120	注意ラベル CL-9
(2)	00992-40040	注意ラベル CL-3

## 3. 本製品の使用目的について

本製品は、育苗箱への土入れ・播種・覆土の作業機としてご使用ください。  
使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

# 4. 各部の名称



# 5. 仕 様

型 式		THK-6015
機体寸法	全 長	7312 mm
	全 幅	520 mm
	全 高	1124 mm
重 量		197 kg
動 力	搬送・床土	90 W/100 V (減速比 1/30)
	播 種 (可変速付)	60 W/100 V (減速比 1/60)
	搬送・覆土	90 W/100 V (減速比 1/30)
	灌水ポンプ	200 W/100 V
ホッパー 容量	床 土	72 L
	播 種	45 L
	覆 土	72 L
灌 水 量 (前灌水+直し灌水)		0.4~1.7 L/箱
播 種 量 調 節		インバータ可変速モータにより播種ローラの回転数を可変する。
播 種 量		70~245 g/箱 (100 cc~390 cc/箱)
床 土 量		2.4~4.0 L/箱 (15~25 mm)
覆 土 量		0.5~1.5 L/箱 (3~9 mm 厚)
土 均 し 方 式		ダブル回転ブラシ
標準付属 部 品		前スミ取り装置
能 力		600箱/時(50,60 Hz)

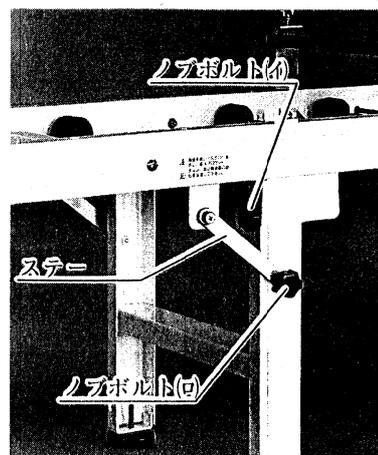
★本製品は、50Hz 地区用に組付けてあります。60Hz の場合は、駆動部のスプロケットを同梱の物と交換して下さい。

(床土側駆動部：18Tスプロケット、38リンク・ローラチェーン)  
(覆土側駆動部：12Tスプロケット)

## 6. 組立要領

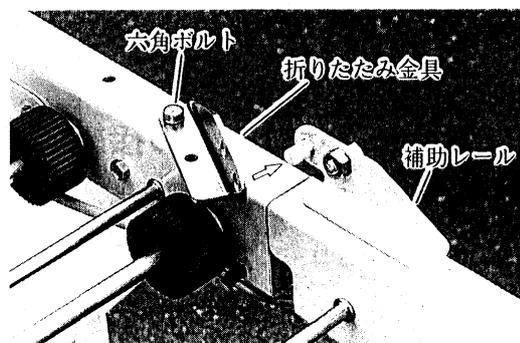
### 6・1 脚の組立

- (1) 本機に折りたたまれている脚を立ててバネ平座金組込六角ボルト (M6×12) にてしっかりと固定して下さい。
- (2) ノブボルト (イ) を固定し、ステーをノブボルト (ロ) にて固定して下さい。



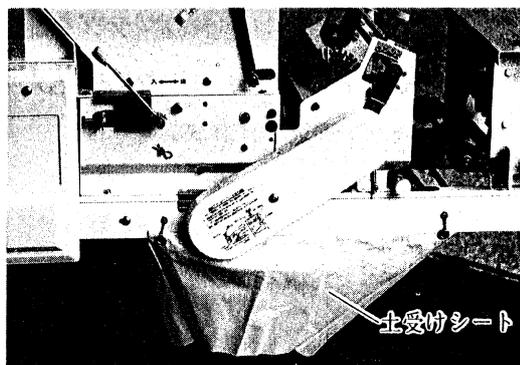
### 6・2 補助レールの組立

補助レールを連結し、折りたたみ金具を六角ボルトにてしっかりと固定して下さい。



### 6・3 土受シートの組立

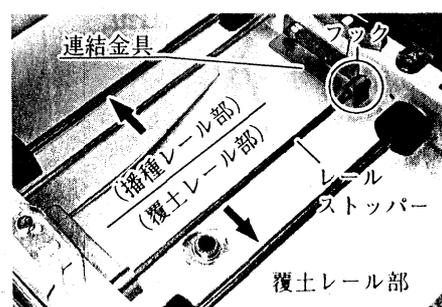
土受シートに付いている穴をフックに引っ掛けて下さい。



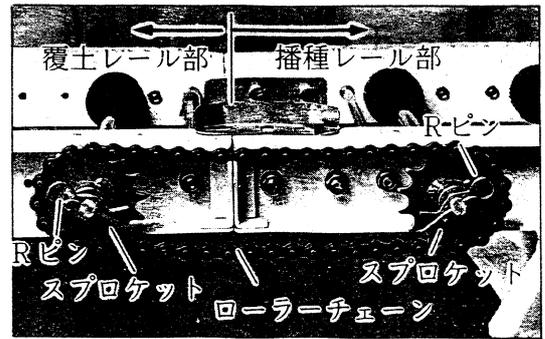
### 6・4 播種部レールと覆土部レールの連結

- (1) 覆土部のレールストッパーシャフトに、連結金具のフックに引っ掛けて連結します。

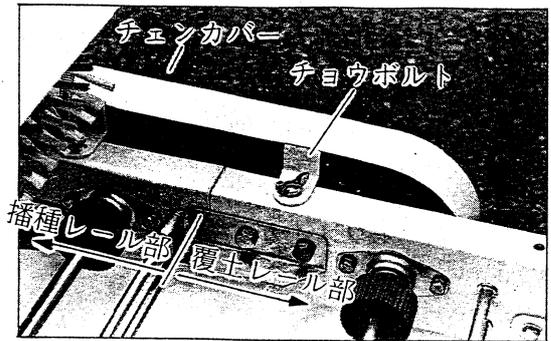
注) 播種部レールと覆土部レールの上面が同じになる様に脚先端についている高さ調節ボルトにて調節して下さい。



- (ロ) 播種レールと覆土レールの連結は写真の様に、スプロケット15丁及びローラーチェーンを組付けRピンを差して下さい。



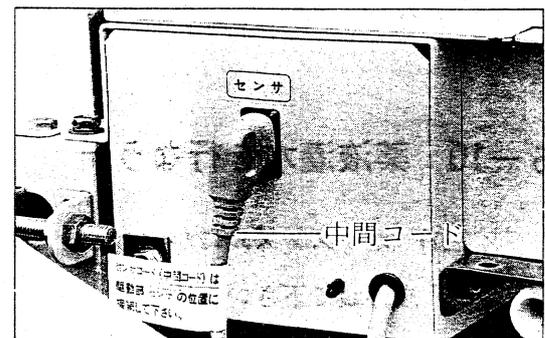
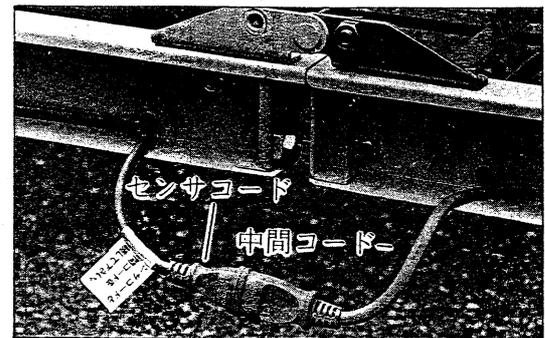
- (イ) 危険防止の為、必ず写真の様に、チェーンカバーをチョウボルトにて組付けて下さい。



## 6-5 センサコードの接続

補助レールの先端にあるセンサから出ているコードプラグを覆土側駆動部コンセントより出ている中間コードと接続して下さい。

又、中間コードのプラグが覆土側駆動部コンセントのセンサの位置に差込んであるか確認して下さい。

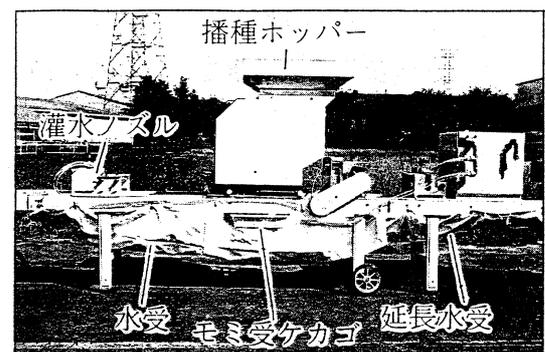


## 6-6 水受けの組立

水受けに付いているハトメをフックに引っ掛けて下さい。

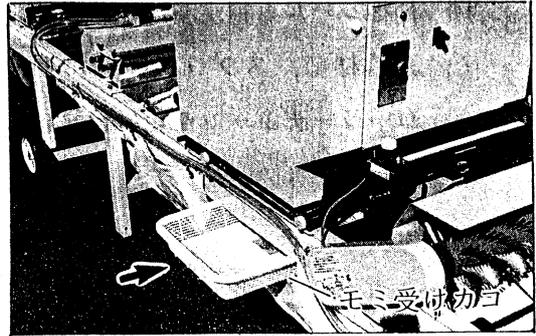
又、排水ホースも取り付けて下さい。

延長水受も同様に取り付けて下さい。



## 6-7 モミウケカゴの組付

播種ホッパーの下側にモミウケカゴをサイドから差込んで下さい。



## 6-8 播種ホッパーの組付

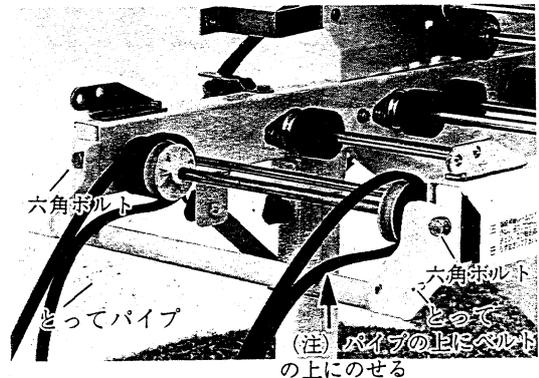
(イ) 搬送方向と播種ユニットの向きに注意して、六角ボルトにて取付けて下さい。(1頁参照)

(ロ) トウメイカバー、補助ホッパーを播種ユニットにセットして下さい。

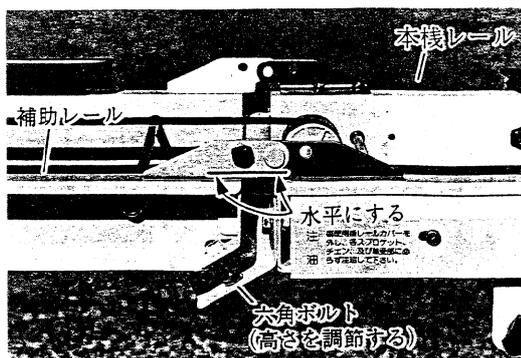
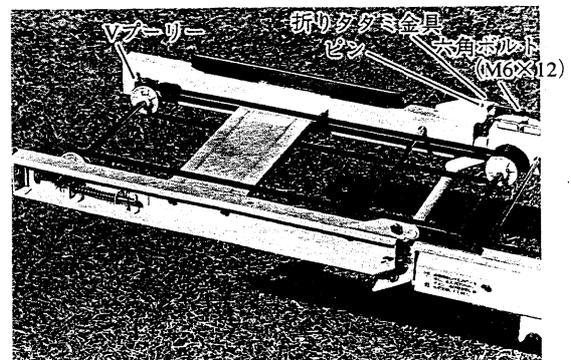
## 6-9 補助レールの組立(Ⅱ)

(1) ところてんを、写真のようにバネ座金付六角ボルト (M8×16) にて、組付けて下さい。(Vベルトが、ところてんパイプの上に来るようにして下さい。)

(2) 本機側の折りたたみ金具の六角ボルト (M6×12) を1本外し、補助レールのピンを差し込んで再び六角ボルトを元のように、取り付けて下さい。VプーリーにVベルトをかけて下さい。



(3) 六角ボルトを調節して本機レールと、補助レールの高さが水平になる様にして下さい。



## 6-10 給水及びオーバーフローホースの接続

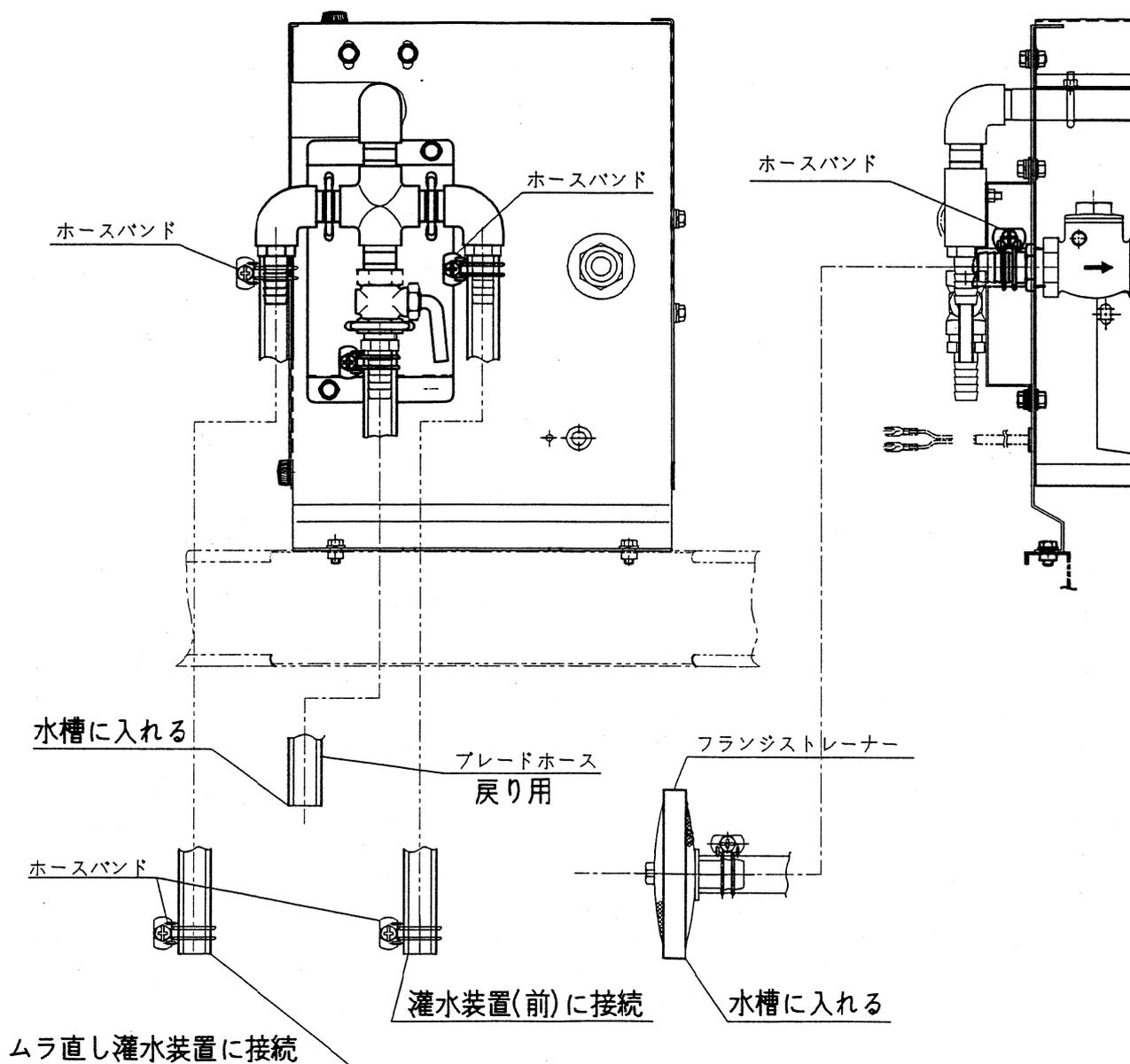
(イ)下図を参照してテロンビニールホースを接続しホースバンドにて固定して下さい。

(ロ)フランジストレーナーのついたホース(太い方)は黄銅製のホースノズルに接続します。

ストレーナー は水,吸込側なので水槽に入れて下さい。(運転時呼び水を入れる)

(ハ)ハンドルロックの付いたノズル(真ん中)は「戻り用」なのでフランジと同じ水槽に入れてください。

**※注意・・・ハンドルロック, 灌水装置のバルブは開いておいて下さい。(出荷状態)**



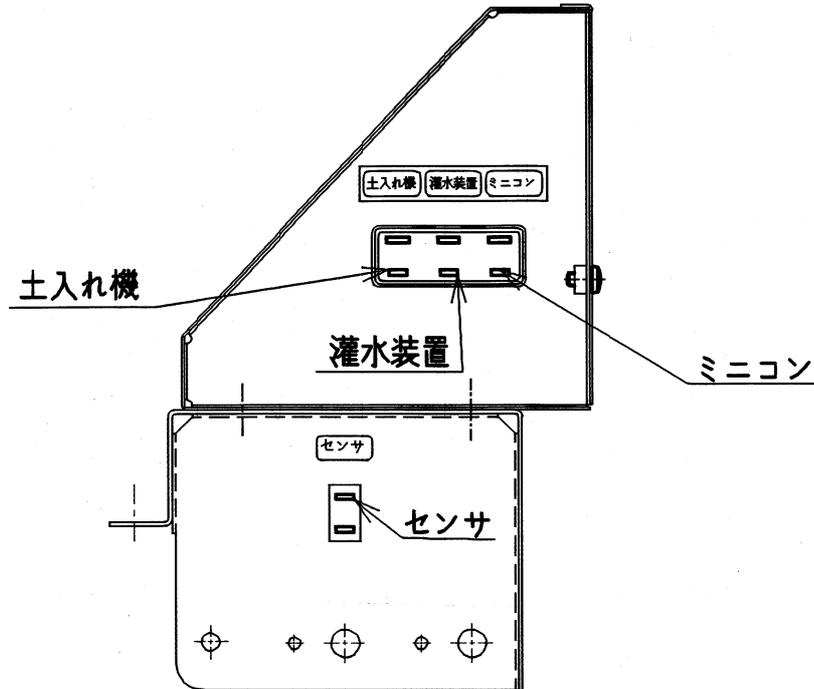
## 6-11 各レール間のコネクタコードの接続

(イ) 覆土部レールと播種部レールはコネクタが3本ずつ出ていますが各々の番号を合わせて接続して下さい。

(ロ) 播種部のコネクタの接続は播種レール上部から出ているコネクタと接続します。

(ハ) 操作ボックスコンセントの接続は下図のように接続して下さい。

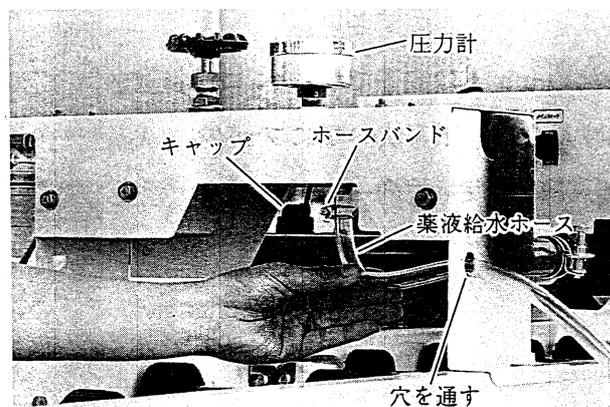
**※注意**・・・センサーコードハ単コンセントのセンサー専用コンセント以外には絶対接続しないで下さ



## 6-12 薬液灌水を行なう時

- (1) ホースノズルにかぶっているキャップを外して下さい。
- (2) ホースノズルに透明ビニールホース (φ9) を取り付けて下さい。

(注意) 薬液灌水を行わない時は、  
必ずキャップをして下さい。

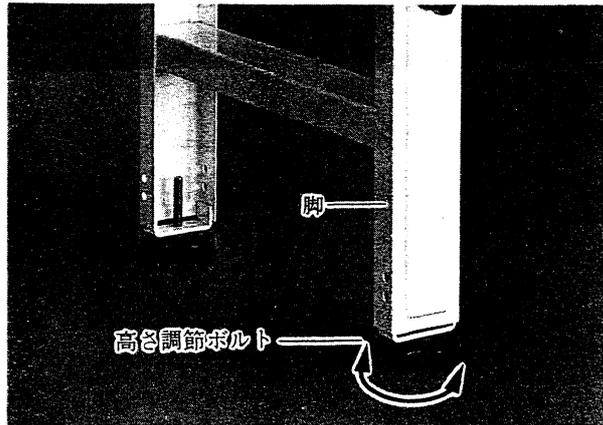


(3) 本機の設置

平らな場所を選び、全体が水平になるよう、スタンドの高さ調節ボルトにて、高さを調節して下さい。

(注意)

設置が悪いと箱が片寄り、播種ムラ、灌水ムラ等の原因になる場合がありますので、特に注意して下さい。



(4) 育苗箱

- 育苗箱はできるだけ同じ種類の物で「ソリ」「ネジレ」のない箱を使用して下さい。
- 育苗箱の種類が同じ物でない場合は、箱の高さを基準に選び分けておいて下さい。(箱の高さが異なると本機の再調整が必要です)

# 7. 運転及び操作

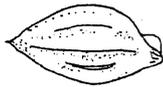
## 7-1 運転前の準備

### (1) 種もみの処理

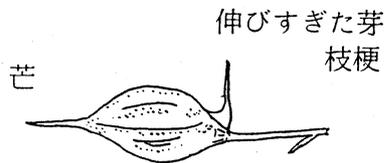
○種もみは、ゴミや、芒、<sup>ホコ</sup>枝梗を取り除き、育苗方法に従って、塩水選、消毒、浸種、芽出し、を行って下さい。尚、芒、枝梗、は、播種ムラの原因になりますので特に注意して取除いて下さい。

○種もみは、「はとむね」位に芽出しをし、芽が伸びすぎないように注意して下さい。又、手につかない程度に陰干しをして、種もみの水分を十分切ってから播種して下さい。種もみの水切りが完全でなかったり芽が伸びすぎていると「播種ムラ」の原因になりますので注意して下さい。

はとむね程度

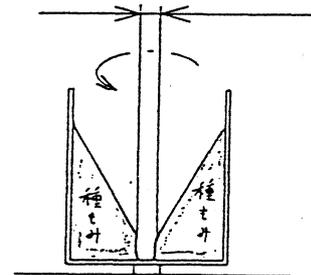


良い種もみ



悪い種もみ

空洞になるよう種もみを配置



(脱水槽)

水切りが不十分ですと、

- ① 播種ローラーの溝に、入りにくい。
- ② 播種ローラーの溝から落ちないで、ともまわりしてしまう。
- ③ 回転ブラシが濡れて、毛と毛がくっついてしまう。

尚、水切りの目安としては、洗濯機の脱水槽にて3～5分脱水した物が最適です。

種もみの品種を替える時、又は播種終了時に、回転ブラシにエアーを、吹きかけない様に注意して下さい。

### (2) 土の処理

○覆土に使用する土は、よく乾燥し、4mm目のフルイを通した物を使用して下さい。

○床土に使用する土は5mm目のフルイを通した物を使用し、床土の水分は、片手でかく握って開いた時にかたまり、指でさわるとすぐ崩れる程度の物です。

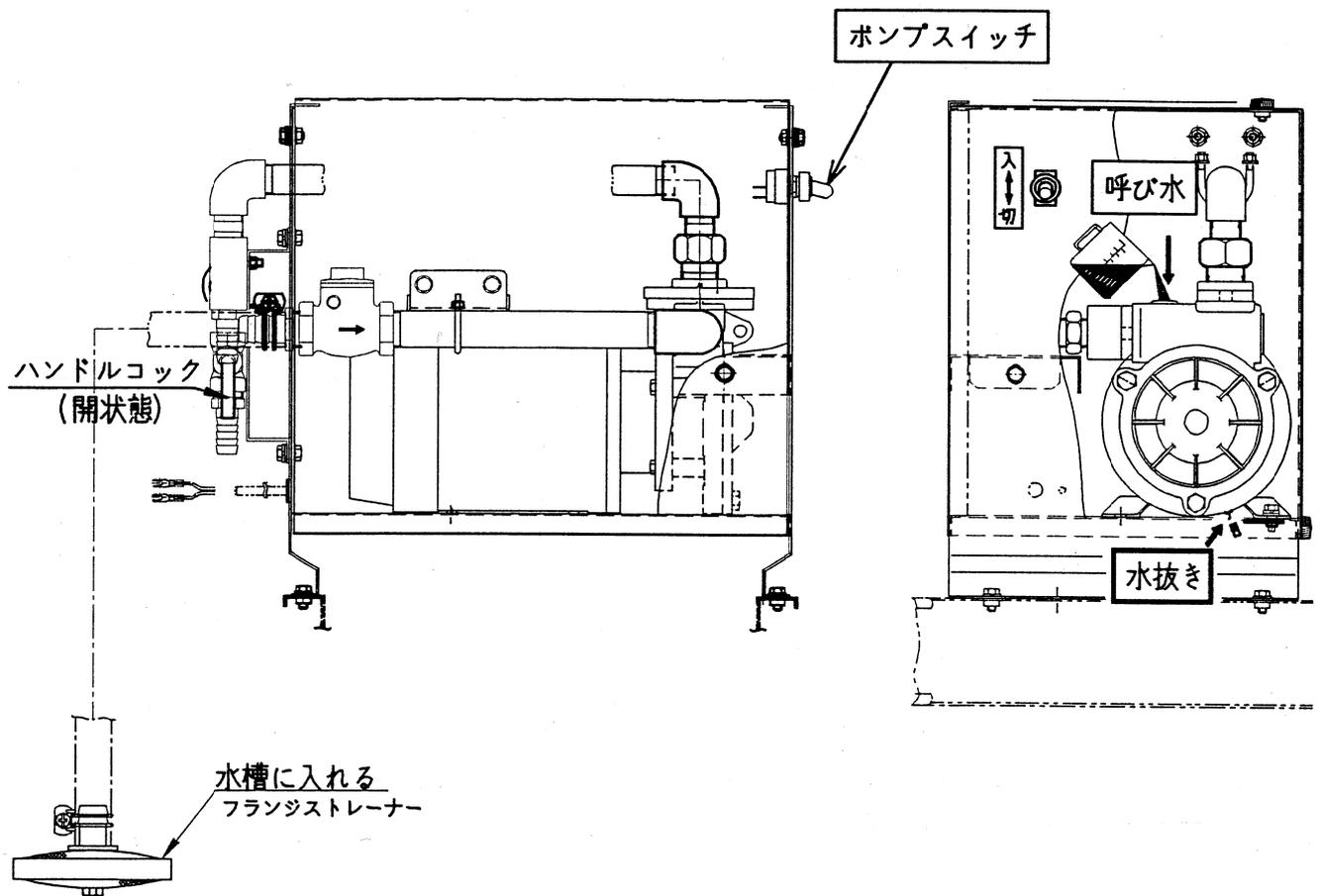
○水分の多い土は、ブリッジ（土がホッパーから出てこない事）の原因となりますので特に注意して下さい。

## 7-2 各スイッチの操作

### 〈スイッチ操作をする前に〉

水ポンプのカバーを外して「呼び水」を入れて下さい。この時、ハンドルロック(下図参照)が「開状態」になっていることを確認してください(ハンドルロックを閉じた状態でポンプを運転すると、ポンプに異常な圧力がかかり、故障の原因となります。)

フランジストレーナー(砂こし器)のついたホースを水の入った水槽に入れます。同じ水槽にハンドルロック(開状態)からのホースを入れます(戻り水用)※ 外したカバーは必ずかけて下さい。



- (1) 集中制御ボックス反対側から出ているコードプラグをAC100Vの電源に差し込んで下さい。
- (2) 集中操作ボックスの「メインスイッチ」を「ON」にして下さい。播種部レール、覆土部レールの搬送ローラーが回ります。
- (3) 「土入れ機」のスイッチを「ON」にして下さい。床土部レールの搬送ローラーが回ります。
- (4) 「灌水」のスイッチを「ON」にして下さい。灌水装置の電磁弁が作動します。この時灌水装置のコックを少し開けておいて下さい。(ポンプの圧力軽減のため)
- (5) 水ポンプのスイッチを「ON」にして下さい。水ポンプのモーターが回り水を吸い込みはじめます。「約2分」で水を完全に吸い込みましたら2つの灌水装置のバルブを調整して下さい。(灌水量が不足の場合のみ水ポンプのハンドルを少し閉めて下さい。)★絶対に全閉にしない事。

※使用後は必ず「水抜き」をすること。

- (6) 最後に補助レール先端のセンサを軽く触れて機械が全停止することを確認して下さい。

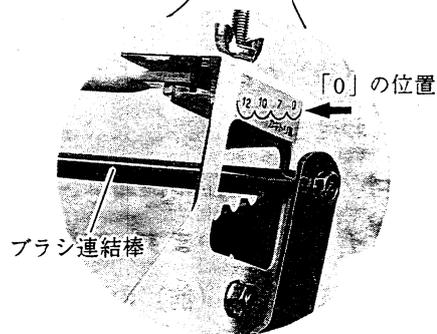
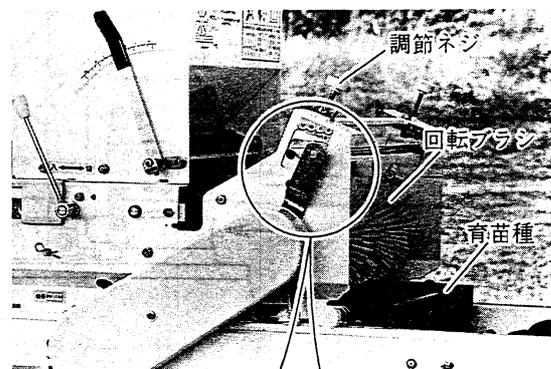
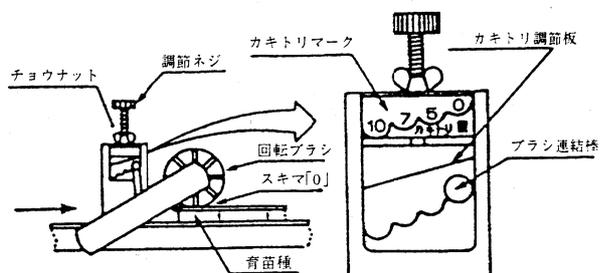
※注意・・・ポンプは停止しませんのでポンプのスイッチを「OFF」にして下さい。

# 8. 土入れ作業

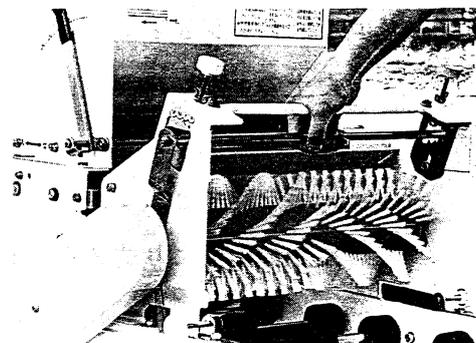
## 8・1 回転ブラシの調節

回転ブラシの調節は育苗箱の種類により箱の高さが異なりますので御使用する箱に合わせて下さい。

- (1) ブラシ連結棒がカキトリ調節板の「0」の位置にある事を確認して下さい。
- (2) 育苗箱の上面と回転ブラシのスキマを「0」になる様調節ネジで調節して下さい。(調節ネジ1回転で回転ブラシが「2ミリ」下がります。)

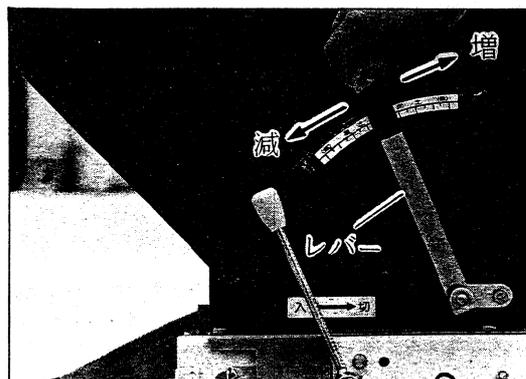


- (3) 写真の様に中央を握る感じでブラシ連結棒を移動して望みのカキトリ量に合わせて下さい。



## 8-2 床土量の調節

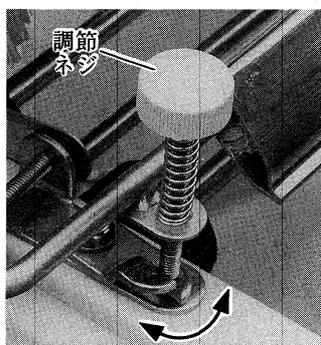
- (1) 床土量の調節はホッパーの側面にあるレバーで調節して下さい。



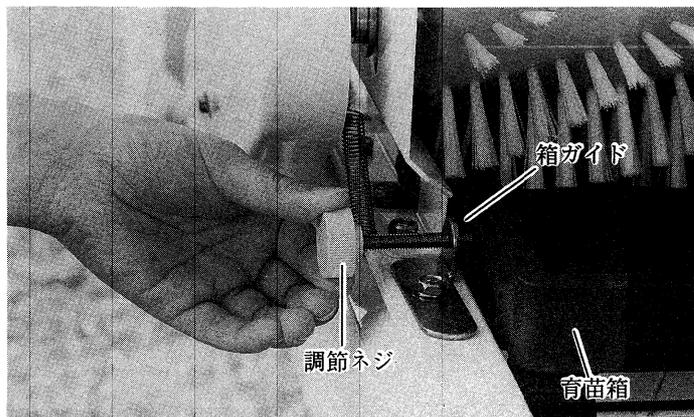
## 8-3 スミ取り装置（前）の調節

このスミ取り装置（前）は、育苗箱の前側の隅を取る装置です。箱の種類により高さが異なりますのでご使用する箱に合わせて下さい。

- (1) 高さ調節金具の一番高い所にスミ押し金具の調節ネジが乗っている事を確認して下さい。
- (2) 育苗箱の上面とスミ押し金具の先端がスキマが「0」になる様、調節ネジで調節して下さい。
- (3) 高さ調節金具を回らすと「7ミリ」さらに回らすと「10ミリ」カキトリにセットされます。

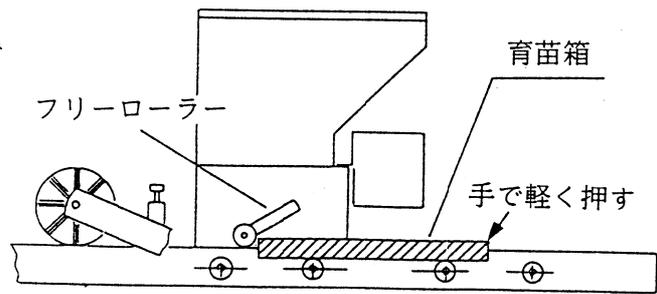


- (4) 箱ガイドを調節ネジで育苗箱に合わせ、スミ押し金具が箱の中に入る様調節して下さい。

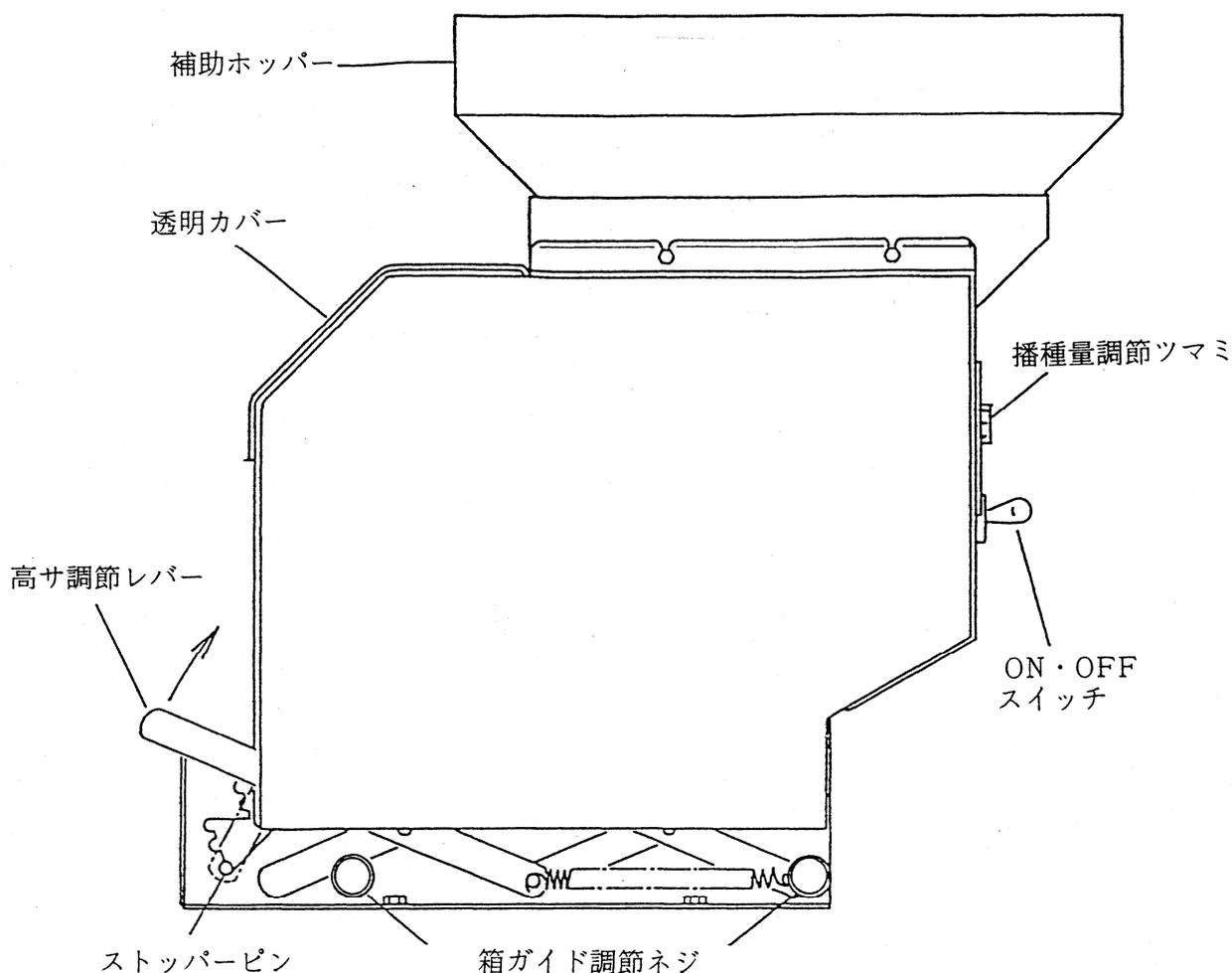


## 8-4 運転

最初の空箱がフリーローラー部で止まる場合は、手で軽く押して下さい。



## 9. 播種作業要領



### 9-1 播種装置の高さ調節

育苗箱の高さに応じて播種装置の高さを、低・中・高（35ミリ、40ミリ、45ミリ）の3段階に変えられる様になっております。

御使用の育苗箱の高さを測定し、測定寸法以上の数値の所でセットして下さい。

〈調節方法〉

高さ調節レバーを上を持ち上げ、ストッパーピンを各数値の溝部にセットします。

### 9-2 箱ガイドの調節

播種装置の下部にある箱ガイドは、調節ネジにて育苗箱が中心にくる様に調節して下さい。

（注意）

育苗箱が引っ掛からない様、余裕（3～5ミリ）をもって調節して下さい。

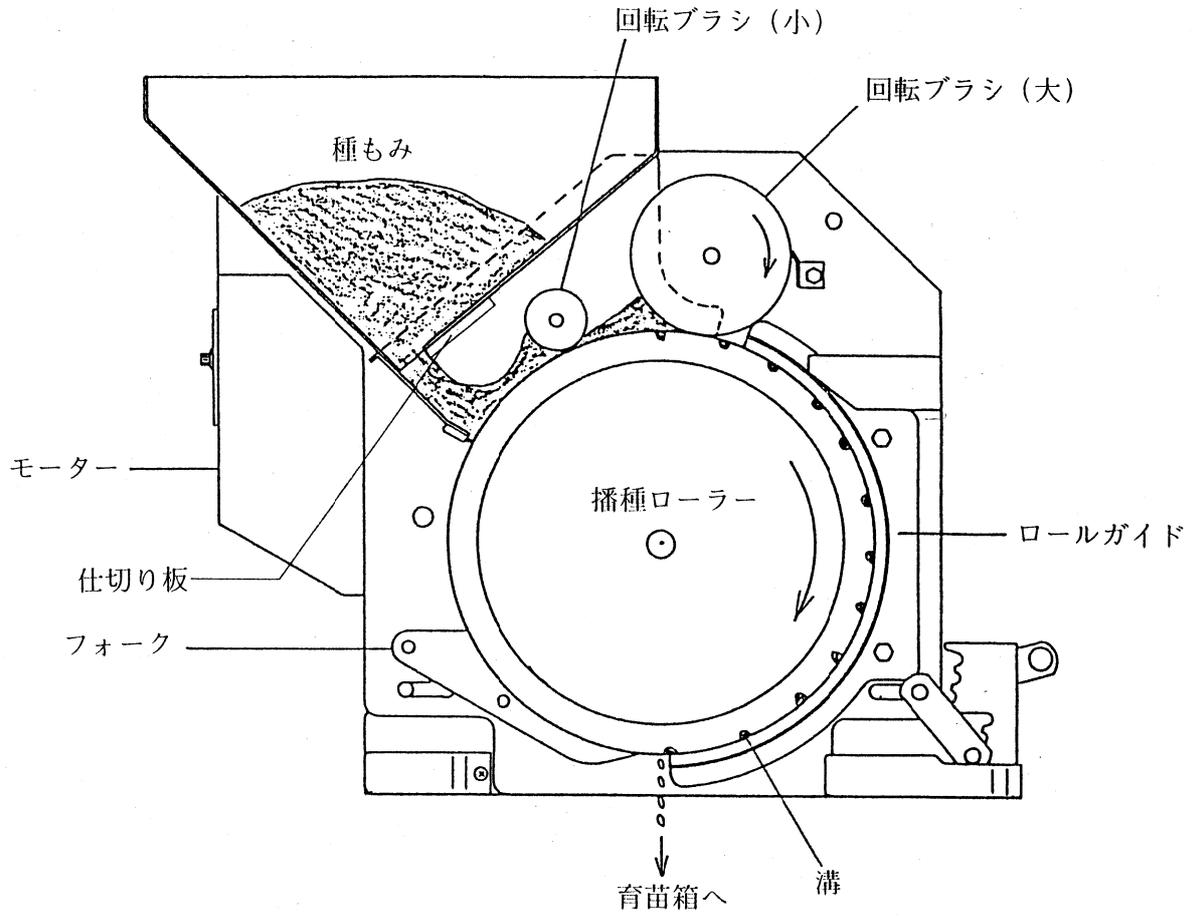
### 9-3 播種量の調節

- (1) 播種量は、品種、水きり、脱芒、催芽の状態により異なりますので、必ず実測して、確認して下さい。
- (2) 播種量調節目盛は、1～10までの範囲で無段階に調節できます。
- (3) 『低速』『高速』の切り替えは、カバー(右側)を外しローラーチェーンの掛け替えにより行います。
- (4) 播種量の目安を下表に示しますが、種籾の品種、催芽、水切りの状態により異なりますので、実測してから御使用下さい。

調節目盛		0 ~ 10	一目盛の 増減量
低 速 10T - 37T	催芽 g	70 ~ 160	約 9 g
	催芽 ml	110 ~ 250	約 14 ml
高 速 15T - 32T	催芽 g	130 ~ 270	約 14 g
	催芽 ml	205 ~ 420	約 22 ml

## 9-4 播種作業

下図の様に種もみがなるように仕切板にて調節して下さい。



# 10. 灌水作業

## 10-1 灌水量の調節

床土が必要とする灌水量は、床土の種類や乾燥状態により異なります。灌水量の調節が充分なされず、湿害や灌水不足を起こし出芽、生育に支障をきたすことのないよう特に次のことを注意して下さい。

### (1) 灌水量の決め方

#### ① 床土の水分状態

乾燥している土は多く灌水し、湿った土は少なく灌水します。必要以上に灌水すると湿害を生じたり、逆に灌水不足だと種もみの根上がり現象がおこります。

#### ② 箱の種類

木箱の場合は、箱自体が水分を吸収するので灌水量をやや多目にします。又、プラスチック箱は、水分が逃げにくいのでやや少な目に灌水します。

### (2) 真水灌水する場合

① 集中操作ボックスの「灌水」スイッチを「ON」にして下表を参照しながら、使用する水圧に灌水装置側のバルブで調節して下さい。

圧力計目盛 MPa		0.02	0.03	0.04	0.06	0.08	0.1	0.12
灌水量 ml/箱	ムラ直し灌水	305	365	425	525	600	665	735
	真水前灌水		580	710	810	990	1125	1250

② 育苗箱を1箱通し、床土入れ、均平、灌水して3分位たって水分がやや落ち着いてから水の浸透状態を確認して下さい。

## 10-2 薬液灌水の仕方

この灌水装置は、「リゾーブス菌」による苗立枯病の発生防止に使用するもので灌水と同時に薬剤散布が出来るようになっています。

### (1) 灌水量及び薬剤吸収量

圧力計目盛 MPa		0.04	0.06	0.08	0.1	0.12
薬剤前灌水 ml/箱		835	★ 1015	1170	1305	1400
薬剤吸込量 ml/箱		105	★ 134	157	176	200
薬剤散布 倍率	500倍	94	75	64	57	50
	800倍	59	★ 47	40	36	31
	1000倍	47	38	32	29	25
水 10 ℓ 当りの薬剤量(g)を示す。						

(2) 消毒液の作り方(ダコニール・ダコレート)

★ 薬液消毒の防除基準は、一般に 500 ~ 1000 倍液を1箱当たり 500 ml 散布と  
なっています。(各地域の育苗指針、農業改良普及委員の指導、薬剤の説明書  
等に従って下さい。)

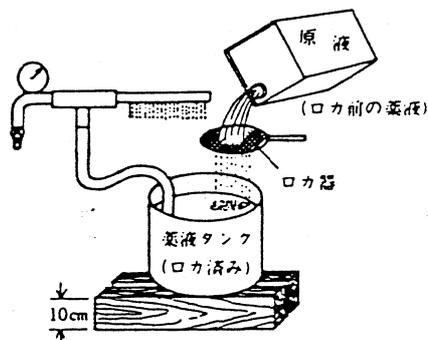
(例) 1箱当たりの適正灌水量が 1015 ml (表中★印)で、800 倍のダコニール消毒液を  
散布する場合

- ① バルブで水圧を 0.06 MPa にセットします。
- ② 1箱当りの薬剤吸込み量は約 134 ml です。800 倍で散布する場合、表を  
参照して水 10 l 当たり薬剤 47g の割合で調合して下さい。
- ③ 消毒液の必要量は、苗箱枚数×薬剤吸込み量です。100 箱育苗する場合  
100 箱 × 134 = 13,400 ml = 13.4 l  
14 l 消毒必要になります。

$$\text{必要薬剤量} = \frac{\text{必要消毒液量 (l)}}{10 \text{ l}} \times 10 \text{ l 当りの薬剤量 (g)}$$
$$\frac{14 \text{ l}}{10 \text{ l}} \times 47 \text{ g} = 65.8 \text{ g の薬剤が必要になります}$$

(注意)

- ① ダコニール、ダコレートとタチガレンの同時施用、近接処理は薬害を生  
じるおそれがありますので避けて下さい。
- ② 薬剤タンクは地上より 10cm 位上げて下さい。
- ③ 薬剤が沈んでしまわないように時々攪拌して下  
さい。
- ④ 吸水用ビニールホースの先端に付いているフィ  
ルターが詰まると薬剤吸収量が減少します。時  
々確認し詰まっていたら掃除して下さい。
- ⑤ 水和剤を使用するときは、原液をロカ器に通しま  
すと、目詰まりが無く正確な散布が出来ます。



### 10 - 3 灌水する位置

- (1) 灌水装置は、移動式になっておりますがもっと手前で灌水したい場合は、六角  
ボルトを外し手前の穴に組付けて下さい。
- (2) 灌水の位置は、種籾が灌水した水に浮かない所にセットして下さい。

★ 播種後灌水を行いたい場合は、ムラ直し灌水装置を覆土レーンに移動して下さい。  
(コードはレーンから出ていますのでそれと接続して下さい。)

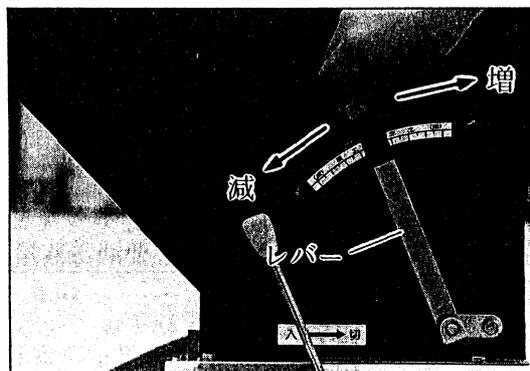
# 11. 覆土作業・その他の調節

## 11-1 モミ落とし回転ブラシの調節

育苗箱の上面に軽くかかる程度に高さを調節して下さい。

## 11-2 覆土量の調節

- (1) 覆土量の調節はホッパーの側面にあるレバーで調節して下さい。
- (2) 粘質な土をさけ、乾いた土を使って種もみがかくれる程度に覆土します。



# 12. 手入れ及び保管上の注意

## 12-1 手入れ

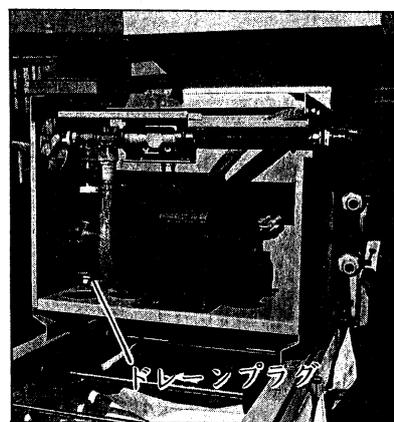
播種作業が終って長時間使用しない場合は、次の点に注意して下さい。

### (1) 灌水装置

- ① 薬液灌水を行った時は、必ず真水を吸い込ませ、内部を良く洗浄して下さい。
- ② 灌水ノズルは、ノズルブラシで掃除をし、水を勢いよく出してパイプ内をきれいにしてからゴム栓をして下さい。
- ③ 冬期凍結のおそれがないよう水を完全に抜いて下さい。

### (2) 水ポンプ

水道ホースを取り外し、水タンクの底のゴム栓を外して水を抜いて下さい。またポンプ本体も最下部にあるドレーン・プラグを外して水を完全に抜いて下さい。



### (3) 水洗い

水洗いをする場合は、電源プラグをコンセントから外し、モーター及びスイッチへの放水はしないよう注意して下さい。

### (4) 残留種モミ

播種作業終了時は、ホッパー内種糞が全部無くなる迄播種ローラーを回し、種子がロールガイド内に残らない様にして下さい。(ロールガイドが破損する恐れがありません。)

### (5) 給油

洗浄後、よく乾かし、回転部(搬送コンベアー軸受部、播種ホッパー軸受部、床土覆土ホッパー軸受部)、ローラーチェン(搬送コンベアー部、播種ホッパー部)などへ必ず給油して下さい。

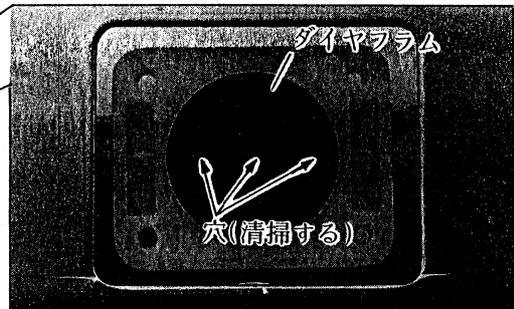
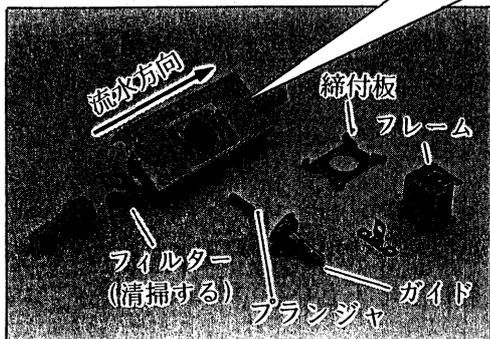
## 12-1 保管上の注意

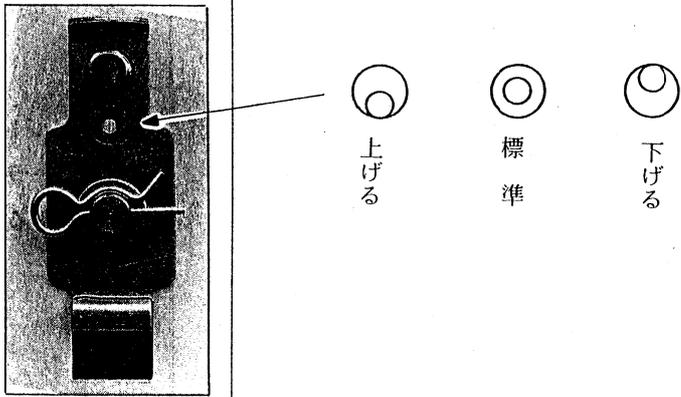
- (1) 床土部覆土部のクラッチは「切」の状態にして下さい。
- (2) 本機の格納は、ゴムローラーを使用してしますので直射日光を避けて下さい。

# 13. 故障の診断と処置

使用中、下表の様なトラブルが発生した場合は、表に基づいて適切な処置をして下さい。

現象	原因	処置
モ動 し か た な い が	(1) 電源のコードの入れ忘れ。 (2) メインスイッチが「ON」になっていない。 (3) センサコードの接続が適切でない。	○家庭用AC100Vに接続する。 ○スイッチを「ON」にする。 ○取説4頁3-5 センサコードの接続参照。
水 の 出 が 悪 い ・ 水 が 出 な い	(1) メインスイッチとカンスイスイッチが「ON」になっていない。 (2) 水道の蛇口が開かれていないか、水道ホースが曲がっている。 (3) 灌水ノズルが詰まっている。 (4) 減圧弁内のストレーナーが目詰まり。	○メインスイッチを「ON」にしてから、カンスイスイッチを「ON」にする。 ○水道の蛇口を開き水道ホースの曲がり直す。 ○同梱のノズルで清掃する。 ○キャップを外し、中にあるストレーナーを清掃する。
	(5) 水ポンプ内のエアース溜  (6) 水ポンプ内ウォーターバルブの目詰まり。 ① フィルターの目詰まり。 ② ダイヤフラムの目詰まり。 (減圧弁の排水は充分流れていて、灌水装置の圧力計が高くなる)	○減圧弁のキャップを緩め、エア抜きを行う。  A. 減圧弁を外し、フィルター（金網）を引き出し、清掃する。  B. 「A」の処置をして、メイン、カンスイ、スイッチを「ON」にしたとき、ウォーターバルブは「ピー」と音するのに水が出ない場合は、ウォーターバルブを分解してダイヤフラムの3つの穴（矢印部）を清掃する。



現象	原因	処 置
ノ空 ズ 気 ル が の 入 中 る に	○薬液吸込口のホースノズルにキャップがさ れていない。	○キャップをする，又割れている場合は新品と 交換する。
薬 液 吸 が い 吸 込 い み 上 量 が 少 な い い	(1) 薬液タンクが低い位置にあって吸い上げる ことが出来ない。 (2) 吸い込み用ホースノズル内部のステンレ スボールが薬剤で密着している。	○薬液タンクを地上より10cm位上げる。 (20頁8-2(2)を参照) ○ハリガネ，クギ等でホースノズルの下より突 き上げて，ステンレスボールが軽く動くこと を確認する。
播 種 ム ラ に な る	(1) 回転ブラシの手前に種もみがない。 (2) 種もみの処理が適切でない。 (3) 種もみの水切りが不十分な為，播種ロー ラーの溝から落ちないで，ともまわりしてし まう。 (4) 芽のだし過ぎにより，播種ローラーの溝に 種もみが入らない。  軸受板 	○取説15頁6-4，18頁7-4 播種作業を参照。 ○7頁4-1-(1)種もみの処理を参照。  ○水分を十二分にする。 脱水機を使用する場合は，最低3分は運転し て下さい。  ○回転ブラシを上げる。 最大0.5mm以上は上げないで下さい。 (出荷時は回転ブラシと播種ローラーの隙間 は「0」に調整されております)
苗 箱 が 厚 播 き の 左 又 は 右 側	① 回転ブラシの左右の平行がでてない。 ② 播種機の左右のレベルが出ていない。(回転ブ ラシにより跳ね飛ばされた種もみが低い方に溜 まる為。)	① 軸受板の調節穴を目安に左右の平行を出して 下さい。 ② 播種機の左右が平行になる様に調節する。
苗 厚 箱 播 き 中 に 尖 が る	① 回転ブラシの中央部が細くなる為。 —上記の起こる原因— 種もみの水切りが不十分な為回転ブラシが濡れて しまい，毛と毛がくっついてしまう。	① 種もみの水切りを十分に行なう。脱水機を使 用する場合は最低3分運転して下さい。回転ブ ラシの中央部をプラスドライバー等を差し込ん で絡まった毛を解いて下さい。

現象	原因	処置
ハシユローラーの動きが悪い（動かない）	(1) ロールガイドとハシユローラーの間に残量種が有ってロールガイドに食込んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ロールガイドを取外し両方とも清浄する。</li> <li>○ロールガイドが破損している場合は交換する。</li> </ul>
	(2) フォークとハシユローラーの溝の間に土又はゴミ等が付着して滑りが悪くなっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フォークを取外し、フォーク部及びハシユローラーの溝部の付着物を取除く。（組付の際、フォークがハシユローラーに接触しないこと）</li> </ul>
	<p data-bbox="263 582 805 649">① モミシキリ板（左）（右）が播種ローラーに接触している。</p> <p data-bbox="263 705 805 772">② モミシキリ板（左・右）と播種ローラーの隙間が大きい為種もみのはさまってしまう。 （注）そのままの状態で使用すると播種ローラーが磨耗する。</p> <p data-bbox="263 1288 805 1355">③ ロールガイドが播種ローラーに押付けられている。</p>	<p data-bbox="829 582 1380 649">溝に入っている部分を清浄のこと （表裏とも）</p> <p data-bbox="829 795 1380 907">○サイドフレームの覗き窓より隙間を確認しながら、調整する。尚隙間は最大1mm迄とします。</p> <p data-bbox="829 929 1380 996">○モミシキリ板と播種ローラーの隙間を1mm以下になる様に調整する。</p> <div data-bbox="829 1041 1276 1220" style="text-align: center;"> <p data-bbox="829 1153 997 1187">モミシキリ板</p> <p data-bbox="1045 1187 1220 1220">播種ローラー</p> <p data-bbox="1220 1041 1268 1153">1mm以下</p> </div> <p data-bbox="829 1288 1380 1400">○六角ボルト4本を緩め、ロールガイドを一度播種ローラーから離し、再度軽く接触する様に調整する。</p>

# パーツリスト





実り豊かな明日をひらく

# 株式会社 スズテック

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地 44-3  
代 表 / TEL.028(664)1111 FAX.028(662)5592  
URL <http://www.suzutec.co.jp>

床土レール・駆動(T)部

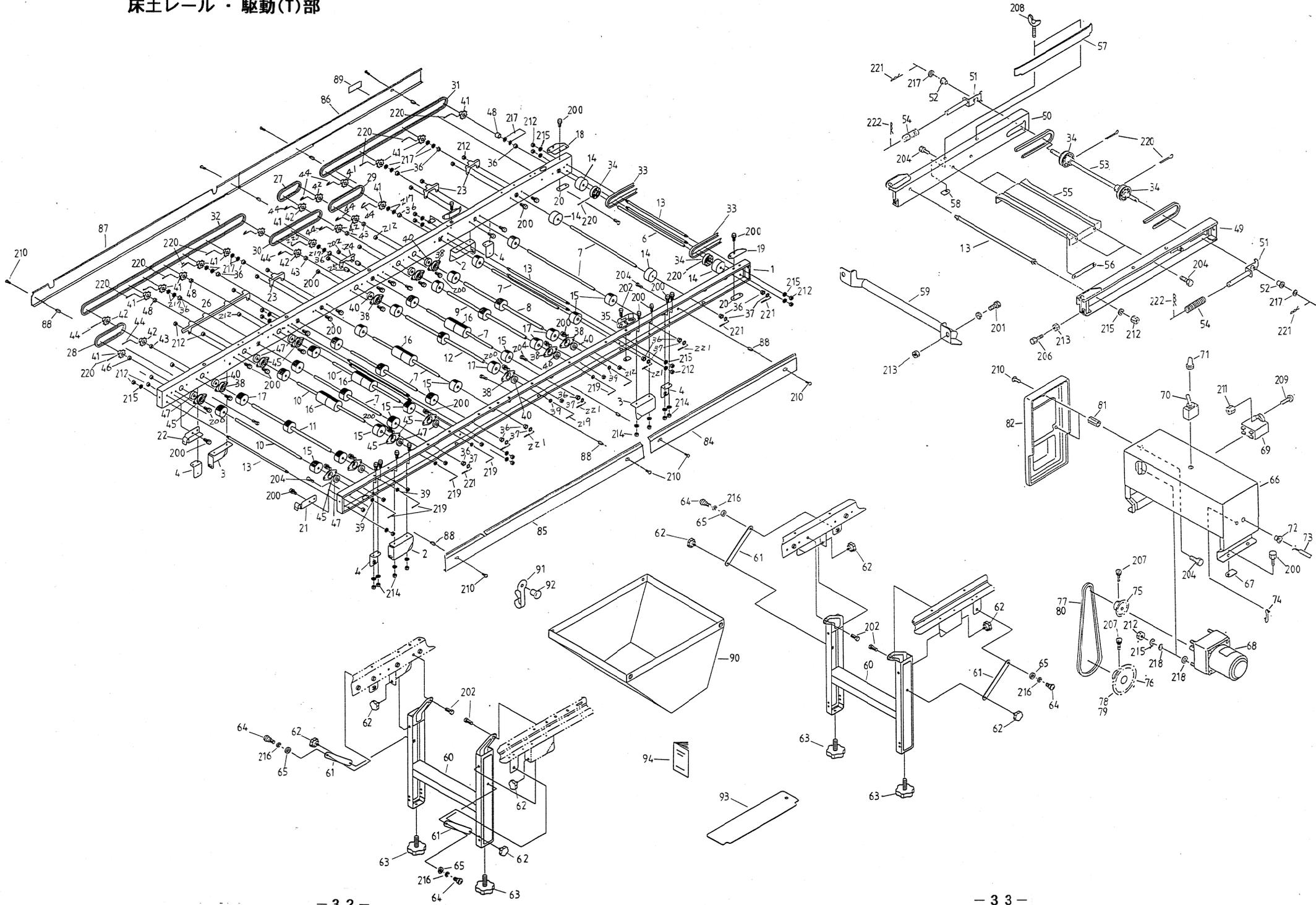


図 NO	コード	名 称	個 数	備 考
			THK-6015	
1	20062-11010	径10mm短径ピン	1	
2	20062-31230	フランジナット	2	
3	20062-31240	フランジナット	2	
4	20062-41300	フランジナット	4	
5	20063-11020	径10mm短径ピン	1	
6	20063-41320	フランジナット	1	φ10×396
7	20063-41220	フランジナット	7	φ10×361
8	20060-41070	フランジナット	1	φ11.95×428
9	20060-41080	フランジナット	1	φ11.95×419
10	20063-41220	フランジナット	3	φ9.95×170
11	20063-41080	フランジナット	1	φ11.95×400
12	20045-41270	フランジナット	1	φ11.95×392.5
13	20000-42590	フランジナット	7	φ48
14	20034-41010	フランジナット	20	φ10
15	20004-409	フランジナット	4	φ50
16	20048-42080	フランジナット	8	
17	20208-41241	フランジナット	12	
18	20041-41162	フランジナット	1	
19	20041-41172	フランジナット	1	
20	20050-41020	フランジナット	2	
21	20063-31190	フランジナット	1	
22	20063-31200	フランジナット	1	
23	20060-41010	フランジナット	6	
24	20060-41350	フランジナット	1	
25	20050-41350	フランジナット	2	φ=17.7
26	20063-31350	フランジナット	1	
27	03003-41022	フランジナット	1	#410・22φ
28	03003-41026	フランジナット	1	#410・26φ
29	03003-41030	フランジナット	1	#410・30φ
30	03003-41044	フランジナット	1	#410・44φ
31	03003-41110	フランジナット	1	#410・110φ
32	03003-41140	フランジナット	1	#410・140φ
33	03510-40052	フランジナット	2	M4-52
34	20000-41130	フランジナット	4	
35	20030-41119	フランジナット	2	
36	20208-42303	フランジナット	16	10×15
37	20208-42303	フランジナット	8	
38	20000-41250	フランジナット	7	
39	20038-41250	フランジナット	8	
40	02202-06001	フランジナット	8	6001U
41	20000-41140	フランジナット	6	軸径φ10
42	20000-41150	フランジナット	8	軸径φ12
43	20038-41240	フランジナット	4	
44	20000-41500	フランジナット	10	
45	20000-42440	フランジナット	6	
46	20229-41031	フランジナット	3	φ=6.5
47	02202-06200	フランジナット	6	6200U
48	20035-41100	フランジナット	8	φ=14.5
49	20050-31450	フランジナット	1	
50	20050-31460	フランジナット	1	

図 NO	コード	名 称	個 数	備 考
			THK-6015	
51	20041-41150	フランジナット	2	
52	20005-411	フランジナット	2	
53	20048-41350	フランジナット	1	φ10×340
54	00931-40019	フランジナット	2	
55	20013-31102	フランジナット	1	
56	20013-31103	フランジナット	2	M6
57	20112-31111	フランジナット	2	M6
58	20033-41020	フランジナット	2	
59	20050-31480	フランジナット	1	
60	20048-31660	フランジナット	2	
61	20048-42130	フランジナット	4	
62	20000-42520	フランジナット	8	M6×10
63	20041-31200	フランジナット	4	M8×46
64	20030-41310	フランジナット	4	
65	20005-419	フランジナット	4	T4.0
66	20056-21030	フランジナット	1	
67	20033-41010	フランジナット	2	
68	20063-31180	フランジナット	1	90W・1/30
69	20063-41190	フランジナット	1	25μF
70	20030-46119	フランジナット	1	
71	20030-46120	フランジナット	1	8×11
72	20208-48411	フランジナット	1	
73	20063-41490	フランジナット	1	
74	20033-41400	フランジナット	1	
75	20000-42430	フランジナット	1	軸径φ12・50Hz用
76	20038-46114	フランジナット	1	#410・36φ
77	03003-41036	フランジナット	1	軸径φ12・60Hz用
78	20000-41050	フランジナット	1	
79	20000-41770	フランジナット	1	
80	03003-41038	フランジナット	1	
81	20035-41160	フランジナット	2	#410・38φ
82	20039-21051	フランジナット	1	φ=30
83	20035-41510	フランジナット	1	
84	20063-31300	フランジナット	1	φ=740
85	20063-31310	フランジナット	1	φ=1245
86	20063-31320	フランジナット	1	φ=976
87	20063-31330	フランジナット	1	φ=1219
88	20035-41170	フランジナット	8	φ=37
89	20000-41350	フランジナット	1	
90	20063-31490	フランジナット	1	
91	20000-42480	フランジナット	6	
92	01620-13206	フランジナット	6	
93	20000-41810	フランジナット	1	
94	95	フランジナット	1	
95	95	フランジナット	1	
96	96	フランジナット	1	
97	97	フランジナット	1	
98	98	フランジナット	1	
99	99	フランジナット	1	
100	100	フランジナット	1	

図 NO	コード	名 称	個 数	備 考
			THK-6015	
200	20000-41730	フランジナット	64	M6×12
201	20000-41760	フランジナット	2	M8×14
202	20000-41780	フランジナット	10	M6×12
203	20000-42010	フランジナット	2	M6×16
204	01000-00610	フランジナット	14	M6×10
205	01000-00812	フランジナット	2	M8×12
206	01000-00825	フランジナット	2	M8×25
207	01010-10612	フランジナット	2	M6×12
208	01020-90610	フランジナット	2	M6×10
209	01114-00412	フランジナット	1	M4×12
210	01114-00612	フランジナット	10	M6×12
211	01200-00403	フランジナット	1	M4
212	01200-00605	フランジナット	58	M6
213	01200-00807	フランジナット	4	M8
214	01250-00606	フランジナット	20	M6
215	01400-00615	フランジナット	18	M6
216	01400-00820	フランジナット	4	M8
217	01420-01016	フランジナット	18	M10
218	01421-00610	フランジナット	8	M6
219	01500-03020	フランジナット	7	3×20
220	01500-03025	フランジナット	15	3×25
221	01501-00918	フランジナット	10	φ9
222	01501-00818	フランジナット	2	φ8

播種レール・灌水装置(前・後)部

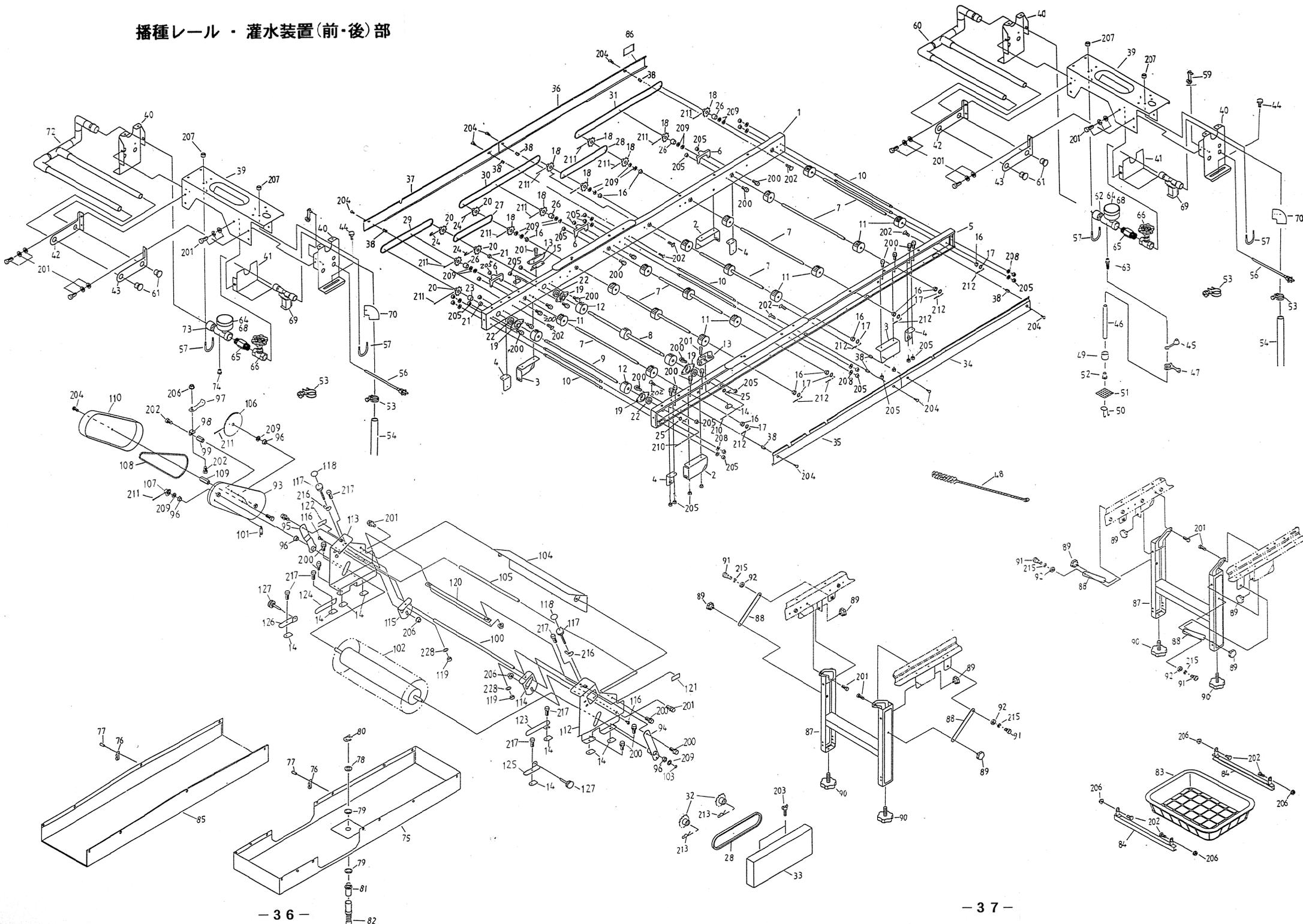


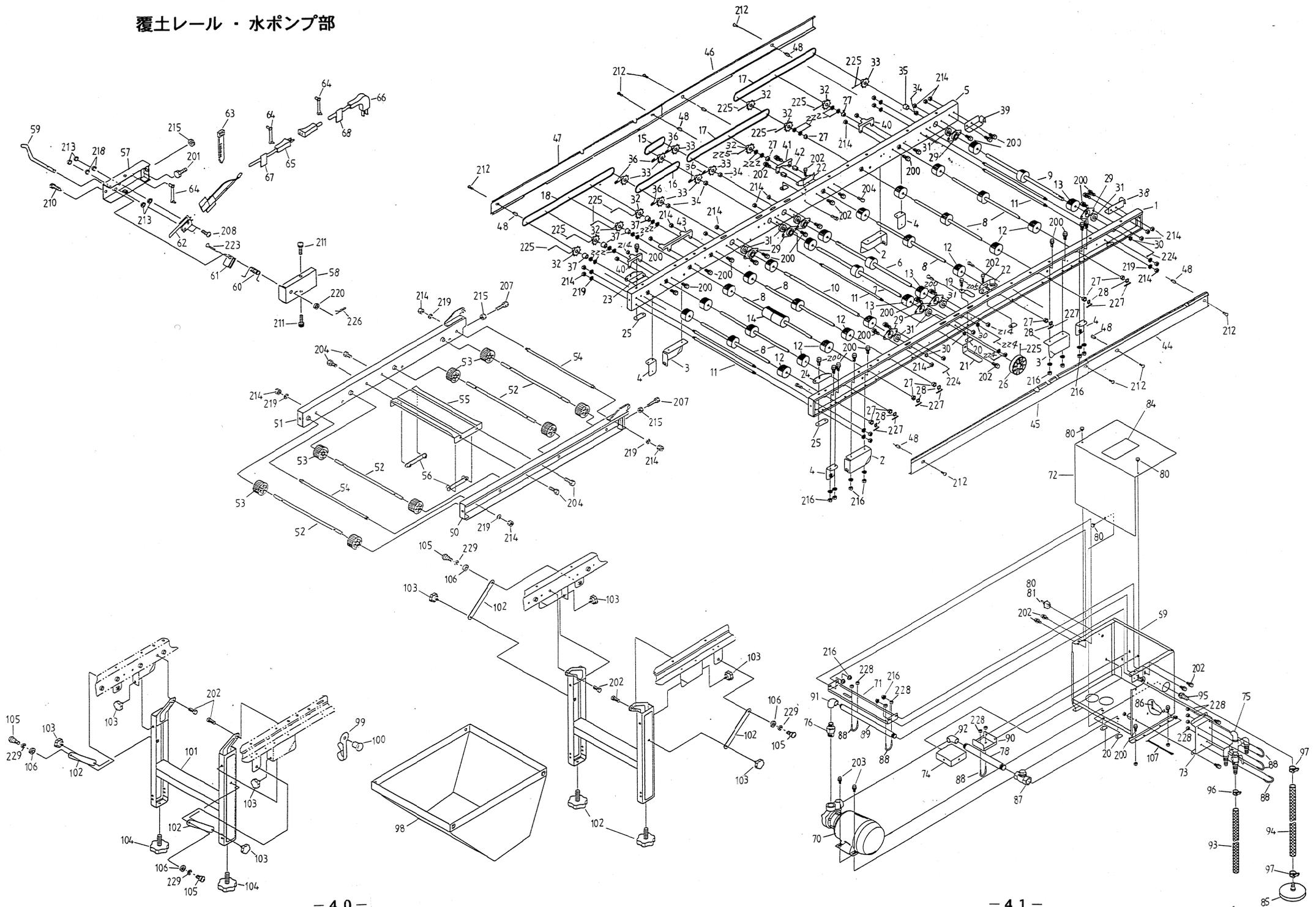
図 NO	コード	名 称	個 数	備 考
			THK-6015	
1	20063-11030	精削レール芯柱 (L)	1	
2	20062-31230	ブラケット (A)L	2	
3	20062-31240	ブラケット (AR)	2	
4	20062-41300	ブラケット (B)	4	
5	20063-11040	精削レール芯柱 (R)	1	
6	20062-41010	チェンガイド (A)	4	φ10×361
7	20035-41220	シャフト (同転/ラシ)	7	φ11.95×392.5
8	20045-41270	シャフト (同転/ラシ)	1	φ11.95×420
9	20045-41010	連結シャフト	1	
10	20000-42390	レールスタブナーホルト	17	φ10用
11	20004-409	調整ゴムローラー	6	φ12用
12	20008-41241	調整ゴムローラー (B)	5	
13	20030-41119	ガイド板	2	
14	20033-41020	マカリ止メナット (M6)	12	
15	20031-31120	切り欠きカバー	14	10×15
16	20208-41303	オメガレス軸受	1	
17	20008-42303	スベーク	7	
18	20000-41140	スプロケット (8T)	10	軸径φ10
19	20000-42120	ベリングケース (C)	4	
20	20000-41150	スプロケット (8T)	3	軸径φ12
21	20038-41240	カバー (A)	2	
22	02202-06001	ボールベアリング	4	6001LUU
23	20063-41180	カバー	1	L=15
24	20000-41500	Rピン	2	
25	20038-41250	カバー (B)	2	
26	20035-41100	ローラー	4	L=15
27	03003-41038	ローラーチェン	1	#410-38L
28	03003-41046	ローラーチェン	2	#410-46L
29	03003-41050	ローラーチェン	1	#410-50L
30	03003-41076	ローラーチェン	1	#410-76L
31	03003-41084	ローラーチェン	1	#410-84L
32	20045-41090	スプロケット (15T)	2	#410-15T
33	20045-31111	チェンカバー	1	
34	20063-31360	レールカバー (標準) L1	1	L=860
35	20063-31370	レールカバー (標準) L2	1	L=760
36	20063-31380	レールカバー (標準) R1	1	L=860
37	20063-31390	レールカバー (標準) R2	1	L=860
38	20035-41170	支柱 (B)	8	L=37
39	20048-41220	カンシイ基板	2	
40	20048-31670	カンシイ副板	4	
41	20048-42090	カバー	4	
42	20050-41650	アーム (R-30/R)	2	
43	20050-41660	アーム (R-30/L)	2	
44	20000-41910	化雑ネジ	4	
45	20041-41270	ゴムキャップ	1	
46	06600-009200	ビニールホース	1	
47	06710-11200	ホースバンド	1	
48	20000-31070	ノズルブラシ	1	
49	20050-41150	ウェイト	1	
50	20050-41160	クリップ	1	

図 NO	コード	名 称	個 数	備 考
			THK-6015	
51	20041-41240	アミ	1	
52	20041-41680	フランジブラッシュ	1	
53	06710-12200	ホースバンド	4	φ22
54	06602-015250	テトラゴナプレートホース	2	15×22×2.5mm
55	20035-41470	注脂アーク	2	
56	00980-41630	電線コード (φ2M)	4	
57	29202-41030	Uボルト	2	
58	20033-41400	コードブラッシュ	2	
59	20045-31360	溝水ノズル	1	
60	20048-45130	ゴム板	4	
61	20008-45130	溝水ノズル	1	K60
62	20063-41230	調整ノズル	1	
63	20122-41080	ボールベアリング	1	
64	20000-42181	圧力計	2	
65	20048-42100	六角ニップル	2	
66	20041-41250	クローツバルブ	2	
67	20000-42760	ロッタナット	2	
68	20000-42760	ロッタナット (B)	2	
69	29202-41170	ウネーターバルブ	2	
70	06201-01212	エルボ (φ5")	2	
71	20050-31470	溝水ノズル	1	
72	20050-41170	調整ノズル	1	K61
73	20050-01800	ブラシ	1	PT 1/8
74	06290-01800	水巻シート	1	
75	20063-21160	水巻シート	1	
76	20000-42490	ワック (RV)	22	
77	01620-13206	フラインドリベット (丸)	22	
78	20030-47119	ワッシャー	2	
79	20030-47120	ナット	1	
80	20033-41050	バルブナット	1	
81	06232-52034	排水ホース	1	5m
82	20030-47125	調整ワッシャー	1	
83	20041-31100	調整ワッシャー	1	
84	20042-41080	延長水巻シート	2	
85	20063-31460	注油ノズル	1	
86	20000-41350	脚立	2	
87	20048-31660	脚立	4	
88	20048-42130	フッボルト	8	
89	20000-42520	フッボルト	4	
90	20041-31200	高さ調整ボルト	4	
91	20050-41310	取付ネジ (L)	4	
92	20005-419	丸座	4	
93	20048-31620	フランジアーム (R)	1	
94	20048-42050	フランジナット (A)	1	
95	20060-41040	フランジナット (右)	1	
96	20000-41320	オメガレスベアリング	5	
97	20048-41130	チェンジョイント	1	
98	20045-41280	チェンジョイント	1	
99	20060-41180	支柱 (φ30)	1	φ=20
100	20133-41200	フランジ調整棒	1	

図 NO	コード	名 称	個 数	備 考
			THK-6015	
101	20050-41450	引線バネ	2	
102	20048-31600	回転ブラシB (床土)	1	
103	02100-01010	C形止め輪	1	軸用 10
104	20048-31610	ブラシカバー	1	
105	20048-42200	ストッパーシャフト (N)	1	
106	20035-41020	スプロケット (42T)	1	
107	20112-44115	スプロケット (9T)	1	
108	03003-25106	ローラーチェン	1	#25・106 1/2
109	20035-41160	支柱	1	φ=30
110	20035-31110	チェンカバー	1	
111	20060-31240	回転ブラシ調整マーク	1	
112	20048-31580	回転ブラシスタント (L)	1	
113	20048-31580	回転ブラシスタント (R)	1	
114	20060-31220	カキトリ調整板 (左)	1	
115	20060-31220	カキトリ調整板 (右)	1	
116	20007-409	取付ネジ	2	
117	20050-41320	調整ネジ	2	
118	20035-41360	調整ネジ	2	
119	20133-41220	ロックナット	1	
120	20133-41210	連結アーム	1	
121	20060-41270	カキトリマーク (左)	1	
122	20060-41280	カキトリマーク (右)	1	
123	20060-41100	箱ガイド (左)	1	
124	20060-41110	箱ガイド (右)	1	
125	29224-41330	ガイドスタント (左)	1	
126	29224-41340	ガイドスタント (右)	1	
127	20113-41170	調整ネジ	2	M6×40

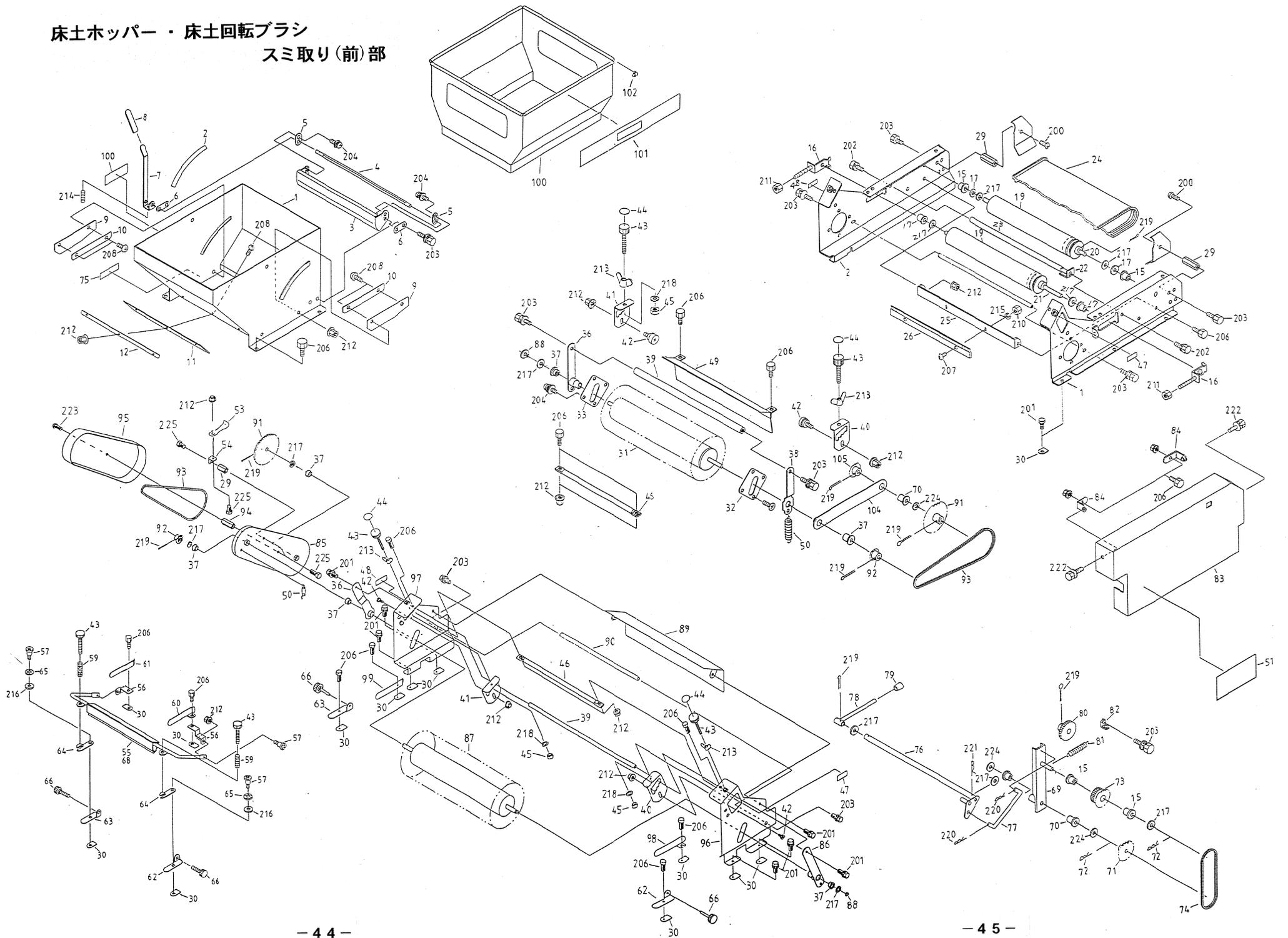
図 NO	コード	名 称	個 数	備 考
			THK-6015	
200	20000-41730	ハネ組込六角ボルト	39	M6×12
201	20000-41780	ハネ平組込六角ボルト	20	M6×12
202	01000-00610	六角ボルト	15	M6×10
203	01020-90612	テーパーボルト	2	M6×12
204	01114-00612	十字穴付テラス小ネジ	9	M6×12
205	01200-00606	六角ナット	25	M6×12
206	01250-00606	厚穴付ナット	29	M6
207	01280-00304	六角ボルト	8	M5
208	01420-01016	ハネワガネ	12	M6
209	01420-01016	ヒラワガネ	19	M10
210	01500-03020	軸ピン	2	3×20
211	01500-03025	軸ピン	13	3×25
212	01501-00918	Rピン	7	φ 9
213	01501-01223	Rピン	2	φ 12
215	01400-00820	ハネワガネ	4	M8
216	01290-90600	テーパーボルト	2	
217	01000-00612	六角ボルト	6	M6×12
228	01421-00610	ヒラワガネ	2	M6

# 覆土レール・水ポンプ部





床土ホッパー・床土回転ブラシ  
スミ取り(前)部





ホッパー・操作ボックス・駆動(F)部

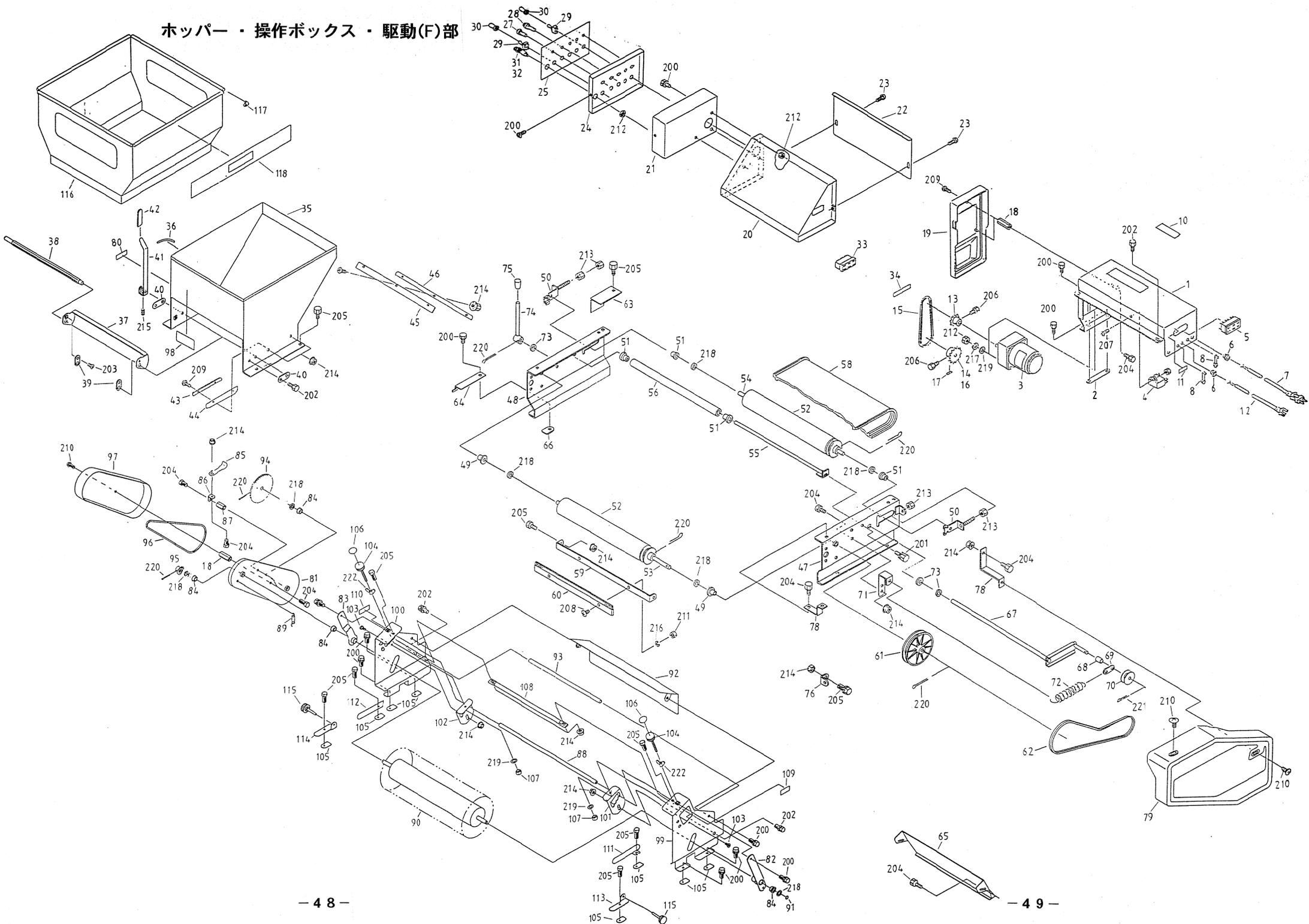


図 NO	コード	名 称	個 数	備 考
1	20060-2110	モーターボックス	1	
2	20033-41010	オメガナット	1	
3	20063-31180	ギヤードモーター	1	25 ｾﾞｯ F
4	20063-41190	コンデンサ	1	
5	00980-31010	コンデンサ	2	8×11
6	20208-48411	コードワッシュ	1	5m
7	00980-41390	電源コード (R)	2	
8	20033-41400	コードクランプ	1	
9	20501-4126	接続子	1	
10	20050-41610	モーターケーブル	1	
11	29202-41040	モーターケーブル	1	
12	20063-41440	覆土メタインゴット (PT)	1	軸径φ 16 ｾﾞｯ
13	20063-41200	モーターインゴット (PT)	1	
14	20110-42108	スプロケット (OPT)	1	#4.10 × 30 ｻ
15	03003-41030	ローラーチェーン	1	軸径φ 12 (60HZ用)
16	20000-41040	スプロケット (12T)	1	
17	20000-41770	巻戻スベール (60HZ)	1	
18	20035-41160	支柱 (A)	3	L=30
19	20035-21042	モーターカバー	1	
20	20060-21070	スリッパボックス(A)	1	
21	20060-31430	スリッパボックス(B)	1	
22	20060-31330	カバー	4	M5×10
23	20000-42240	十字穴付ステン小ネジ	4	
24	20060-31420	スリッパ取付板	1	
25	20063-31240	操作ボックストラベル	1	
26	00980-40013	スナックボックス	1	15A・松下WD-1011
27	00980-41360A	ネオンプラグレットA	1	サトウハチ BN-61
28	00980-41360B	ネオンプラグレットB	4	サトウハチ BN-61
29	20030-46119	スナックボックス	4	松下 AJS310
30	20030-46120	ゴムキャップ	5	松下WD-1911
31	20224-41420	ヒューズホルダー	1	サトウハチ F-4000
32	08100-00015	ヒューズ (15A)	1	
33	20060-31350	ACソケット (B)	1	
34	20063-41580	接続マーク	1	
35	20060-21100	床土ボリバー完結	1	
36	20048-41840	自衛マーク	1	
37	20048-31480	シヤッター	1	
38	20048-41790	シヤッター軸	1	
39	20048-41830	シヤッタープレート	2	
40	20048-41800	シヤッター軸板	2	
41	20048-41810	レバー	1	
42	20048-41820	レバキヤップ	1	
43	20133-41030	ゴムタテ(側板)	2	
44	20133-41040	ゴム押え	2	
45	20133-41070	ゴムタテ(ウシロ)	1	
46	20126-41170	ゴム押え(ウシロ)	1	
47	20050-31220	コンベアフレーム(左)	1	
48	20050-31240	コンベアフレーム(右)	1	
49	20208-41340	オイルレス軸受	2	#80 10×15
50	20013-41109	ベルト張り金具	2	

図 NO	コード	名 称	個 数	備 考
51	20005-411	オイルレスベアリング	4	10×13
52	20048-21120	ベルトローラー	2	
53	20048-41620	駆動シヤフト	1	
54	20048-41630	従動シヤフト	1	
55	20050-41440	連環パイプ	1	
56	20133-41020	ローラー	1	
57	20126-21050	コンベアベルト	1	
59	20133-31030	ブラシ取付金具	1	
60	20013-34204	ハケ芯結	1	
61	20000-31020	φ100Vプーリー	1	A-33
62	03511-00033	Vベルト	1	
63	20035-41620	カバー(右)	1	
64	20035-31120	抑り爪カバー	1	
65	20048-41650	土匠研板 (フラット)	1	
66	20033-41020	マワリ止メナット (M6)	4	
67	20033-31070	マワリ止メナット	1	
68	20033-41140	カラー	1	
69	20030-45116	ハネカケ板	1	
70	20000-41310	テンションプーリー	1	
71	20147-41360	ハネカケ(S)	1	
72	00980-40006	引線ハネ	2	T4.0
73	20005-4119	丸線	1	
74	20030-45115	レーンハネ	1	
75	20030-44123	ニギリ	1	
76	20041-41320	ハネカケ	1	
77	20035-41030	カバー取付金具(A)	1	
78	20050-40430	カバー取付金具	1	
79	20035-21021	カバー (フラット)	1	
80	20030-45117	クラッチ断線マーク	1	
81	20048-31620	ブラシ取付板	1	
82	20048-42050	ブラシ取付板	1	
83	20060-41040	ブラシ取付板	1	
84	20000-41320	オイルレスベアリング	5	10×13
85	20048-41130	テンションバネ	1	
86	20045-41280	テンション右	1	
87	20060-41180	支柱 (20)	1	L=20
88	20050-41450	引線ハネ	1	
89	20030-41200	ブラシ運結	2	
90	20048-31600	回転ワシB(床土)	1	
91	02100-01010	C形止め輪	1	
92	20048-31610	形止カバー	1	
93	20048-42200	ストッパーシヤフト	1	
94	20035-41020	スプロケット (2PT)	1	
95	20112-44115	スプロケット (1PT)	1	
96	03003-25106	ローラーチェーン	1	
97	20035-31110	チェンカバー	1	
98	20060-31240	回転ワシ調断マーク	1	
99	20048-31580	回転ワシシステム(L)	1	
100	20048-31590	回転ワシシステム(R)	1	

図 NO	コード	名 称	個 数	備 考
101	20060-31220	カキトリ調断板 (左)	1	
102	20060-31230	カキトリ調断板 (右)	1	
103	20007- 409	取付ネジ	2	
104	20050-41320	調断ネジ	2	
105	20033-41020	マワリ止メナット (M6)	8	
106	20035-41360	調断目盛	2	
107	20133-41220	ロックナット	2	
108	20133-41210	連結アーム	1	
109	20060-41270	カキトリマーク(左)	1	
110	20060-41280	カキトリマーク(右)	1	
111	20060-41100	箱カイト(左)	1	
112	20060-41110	箱カイト(右)	1	
113	29224-41330	ガイドシステム(左)	1	
114	29224-41340	ガイドシステム(右)	1	
115	20113-41170	調断ネジ	2	M6×40
116	20045-21170	補助ホッパー	1	
117	20000-41690	コーナーゴム	4	
118	20045-31300	ススタックマーク	2	L=570

図 NO	コード	名 称	個 数	備 考
200	20000-41730	ハネ粗込六角ボルト	22	M6×12
201	20000-41760	ハネ粗込六角ボルト	2	M8×14
202	20000-41780	ハネ粗込六角ボルト	6	M6×12
203	20000-42170	ハネ粗込六角ボルト	2	M4×8
204	01000-00610	六角ボルト	7	M6×10
205	01000-00612	六角ボルト	16	M6×12
206	01010-10612	六角穴付ボルト	2	M6×12
207	01110-00412	七字穴付ナットネジ	1	M4×12
208	01110-00416	七字穴付ナットネジ	2	M4×16
209	01110-00612	七字穴付ナットネジ	7	M6×12
210	01114-00612	七字穴付ナットネジ	5	M6×12
211	01300-00403	六角ナット	3	M4
212	01200-00606	六角ナット	7	M6
213	01200-00807	六角ナット	4	M8
214	01250-00606	腰金付ナット	4	M6
215	01360-00612	六角穴付ネジ	1	M6×12
216	01400-00410	ハネザガネ	2	M4
217	01400-00615	ハネザガネ	4	M6
218	01420-01016	ピラザガネ	8	M10
219	01421-00610	ピラザガネ	10	M6
220	01500-03025	刺ピン	10	3×25
221	01501-00310	クビ	1	φ5
222	01290-90600	チョウウナット	2	M6

播種部

